



丸一金属工業株式会社

気まぐれ通信 5 年目 ver.1.00

(余談続編 余談 3 年+気まぐれ通信 5 年)

著作 吉村 郁祐

丸一金属工業株式会社会議資料より「気まぐれ通信」タイトル一覧 平成 25 年 9 月～平成 26 年 8 月の 12 ヶ月分

知っ得言葉 37 ● 「ニューロン」と「シナプス」

おまけ 9 月 2 日の朝礼から ● 防災・季節の変わり目～そしてシナプソロジー

其の 1 1 4 平成 25 年 9 月 1 1 日 ● 中国で一番安全な食材とは! ?

おまけ 平成 25 年 9 月 1 1 日 ● 2020 年 東京オリンピック

アメリカのジョークから 平成 25 年 9 月 1 7 日シアトルのダウンタウンの会社の朝。

知っ得言葉 38 ● レッド・オーシャン と ブルー・オーシャン (赤い海と青い海: 経済用語)

其の 1 1 5 平成 25 年 9 月 25 日 ● 色話し 2

おまけ 平成 25 年 9 月 25 日 ● 半沢直樹を観てみた、のだが、、、

知っ得ことば 39 ● ロンダリング

おまけ 平成 25 年 10 月 1 日の朝礼から ● 自分の弱点を知り、克服しよう。

其の 1 1 6 平成 25 年 10 月 2 2 日 ● 米の新たな挑戦

おまけ 平成 25 年 10 月 2 2 日 ● 台風と異常降雨

其の 1 1 7 平成 25 年 10 月 29 日 ● ミネアポリスと沢山のリンゴ

おまけ 平成 25 年 10 月 29 日 ● 肺炎事情 (知人から頂いた記事です)

知っ得ことば 40 ● 便利害・不便益

おまけ ● 1 1 月 1 日の朝礼から + α ● 肺がんと日本シリーズ、そして笑う事

其の 1 1 8 平成 25 年 11 月 12 日 ● 日本のゆるゆる法案? ~ 基準があいまいな変な法案達 ~ やぶにらみの私見

其の 1 1 9 平成 25 年 11 月 19 日 ● 偽装日本。怒りとオドロキ、そして当たり前からマヒに! ?

知っ得ことば 41 ● インフラ

其の 1 2 0 平成 25 年 11 月 26 日 ● 強大台風の後には発生する地震や噴火! ?

知っ得言葉 42 ● ガラケー

おまけ 1 2 月 2 日の朝礼から ● 食品偽装と工業製品

アメリカのジョークから 平成 25 年 12 月 17 日とあるバーにて

其の 1 2 1 平成 25 年 12 月 24 日 ● 現代の恐竜

おまけ 平成 25 年 12 月 28 日年次終礼から

- 球際(たまぎわ)に強くなれ
- 成長がもたらすもの
- 有給休暇について

其の 1 2 2 平成 26 年 1 月 2 1 日 ●後出しジャンケン、前出しジャンケンがまかり通り、そしてマトモな勝負が非難される、、、

知っ得言葉 4 3 ●未必の故意(ヒツコイ)

おまけ 平成 26 年 1 月 21 日 ●たばこをやめよう

おまけ 平成 26 年 1 月 28 日 ●もう一つのインフルエンザ対策

知っ得言葉 4 4 ●過失相殺(カツツクイ)

おまけ 平成 26 年 2 月 1 日の朝礼より

- 日常における目標と言う「メダル」
- 自転車と自己責任

おまけ 平成 26 年 2 月 25 日 ●カタカナ起源にみるユダヤの文化の影響(永年住んだアメリカから、岡山に一時移住されている小野澤氏の原稿から)

おまけ 平成 26 年 3 月 1 日の朝礼+α ●変わらず存在し続けるためには変わり続けねばならない II

其の 1 2 3 平成 26 年 3 月 25 日 ●日本人とルール

おまけ 4 月 1 日朝礼+α ●自己管理が出来ないと自分に降りかかる

其の 1 2 4 平成 26 年 4 月 2 2 日 ●職の立場～薄れゆく公の仕事に関わる人達のプロ意識～

其の 1 2 5 平成 26 年 4 月 3 0 日 ●片倉工業

おまけ 平成 26 年 4 月 3 0 日 ●消費税と郵便料金のギモン

おまけ 平成 26 年 5 月 1 日の朝礼より ●芯をしっかり持ってゆこう

知っ得言葉 その 44 ●マイナンバー制度

知っ得言葉 その 45 ●レジリエンス

其の 1 2 6 平成 26 年 5 月 20 日 ●覚せい剤は何故やめられないのか？

おまけ 6 月 2 日の朝礼より

- 目を見よう・相手を見よう
- 異常な暑さに対しては普段以上の睡眠・休息をもって対処すべし！

其の 1 2 7 平成 26 年 6 月 10 日 ●日常に浸透する中国の脅威

知っ得ことば その 4 6 ●集団的自衛権

其の 1 2 8 平成 26 年 6 月 16 日 ●危機感をあおっているのか、事前の策か？

知っ得ことば その 4 7 ●認知的不協和

其の 1 2 9 平成 26 年 6 月 24 日 ●タバコは痴呆症を予防してくれる！？

おまけ 7 月 1 日の朝礼+α ●予見しよう・備えよう。そして引く勇気を持とう！

おまけ 平成 26 年 7 月 22 日 ●熱中症について

おまけ 平成 26 年 8 月 1 日 朝礼より ●気付きのチカラ

気まぐれ通信 平成 26 年 8 月 1 9 日 其の 1 3 0 ●変わらず存在し続けるためには変わり続けねばならない III

知っ得ことば 平成 26 年 8 月 2 6 日 その 4 8 ●エボラウイルス(エボラ出血熱の病原体)

気まぐれ通信 平成 26 年 8 月 2 6 日 其の 1 3 1 ●目前に迫る危機

知っ得言葉 3 7 ●「ニューロン」と「シナプス」

人の身体は 60 兆個もの細胞で出来ていると言われていています。その中でも特別に進化したのが 1 千億個以上もあると言われる脳細胞です。更に情報処理に特化して大脳にあるのが脳神経細胞で「ニューロン」と呼ばれます。そしてそのニューロン同士を結びつけて情報のやり取りをするのがニューロンのから出た触手のような突起でお互い信号を送る情報伝達のシクミです。日常から学ぶこと、訓練によってニューロンは多くの触手を作ってネットワークを強化し、やりとりが活性化するのはその結果情報の処理能力(=脳力)が増し、能力としてこなせる力量が増すのです。このような脳のシクミで、より上を目指す為には努力や訓練は欠かせないのです。このシクミは脳神経細胞をもつ全ての生物にほぼ共通するものです。

シナプスとは、痛みと言う刺激、見る、聞こえるなどの外部の刺激を脳に伝えると共に、脳の命令を身体に伝える神経のネットワークです。ニューロンとシナプスは密接な関係。努力や訓練によって情報をやりとりする能力が増すのです。また、年齢に関係なく努力でシナプスとニューロンは能力を増すのです。逆に、に何もしないと衰えて行く、、、そして、いかに才能が有っても努力無くしては花開かない事がこのように神経のシクミからも見て取れます。

平成 25 年 9 月 3 日

おまけ 防災・季節の変わり目～そしてシナプソロジー

9 月 1 日は防災の日で関東大震災をきっかけに定められました。そして今年はその震災から 90 年になります。天災は忘れた頃にやってくる、、、常に防災意識を頭の片隅に心がける事をお奨めします。

また 9 月は季節の変わり目、高い気温に必至に適応してきた身体も気候の変化になじもうと調整します。その時に消耗する体力は大きく体調を崩す原因の一つとされます。体調を保つ努力と工夫が大切です。規則正しい生活そして十分な睡眠は特に大切です。

毎月、月初めの朝礼では「笑う」事をしてもらっています。今月で半年。今回からは腰に手を当て身体をそらせて 2 回、大笑いをするように変えました。

「笑う」は脳を活性化します。それを促すポイントとして感動に加え、共感があります。今回からは「シナプソロジー」という手法を採り入れます。「笑い」と「シナプソロジー」各人の参加意識の度合いに温度差があれども「する」「全くしない」では気付かぬ内に先々大きな差が出てるでしょう。

～以下は引用文をアレンジ～

私たちは人の体験に共感することで、感情を共有し、感動を導くことがあります。日常生活の中でも、人とコミュニケーションをとることが大切です。身体を使った感動力トレーニング、「シナプソロジー」です。

シナプソロジーとは、普段とは違った慣れない動作をすることで、脳の神経伝達物質をやりとりするシナプスの働きを促し、「シナプス」と「ニューロン」の機能を高めるトレーニングです。

例えば、異なる動作を同時に行ったり、言葉を発しながら手足を動かしたりすると脳は混乱します。すると、普段は繋がっていないシナプス同士が混乱に対応しようと結びつき、脳が活性化するのは。初めてのことにパニックっても、次回からは対処出来るのはこのシクミのお陰ですね。

今回やったのは、自分が時計の文字盤になったつもりで、言われた時間を腕で示す事。これは、「脳」をわざと混乱させることが目的です。できなくて脳が焦ったり、考えたりすることで、気持ちや感情が動き、感動するのは。「脳」に刺激を与えて活性化し、感動力を高めて脳と身体を元気にしよう。

9 月 2 日の朝礼から

気まぐれ通信 其の 1 1 4 ●中国で一番安全な食材とは!?

中国は 4 千年の重厚な歴史とそれに裏打ちされた素晴らしい文化、芸術、医療があった。時の皇帝に気に入られようと様々な事が試されその結果、進歩が有った訳だ。親子にわたる職人の手と時間を掛けて作られた芸術品。多くの自己犠牲と実験台にされた犠牲者の上に成り立った東洋医学。どんなに珍しい材料でも食材にしてしまう食文化などなど、、、プロセスの良し悪しは別にして権力者を軸として発展してきた空前絶後の文化の一つが中国文化・文明と言えよう。ちなみに中国料理では「机以外の 4 本足は何でも食べる」と

揶揄（ヤ）されているのは有名な例え話だ。

その高度な文化を支えるものは、中国の自然であり、良識のある民であり、永く継承される匠（クミ）であった。それらの形成の過程は別として、それらの文化そのものとそれに関わった人々、そして凶らずも実験の犠牲になってしまった方々には敬意と哀悼を持たずにはいられない。残酷な一面も有ろうが、昔の中国は人の心も自然も、もっともっと豊かだった。中国のよき人的文化が残っているのが台湾だ。同一民族であっても国家の導きで国民性がこれ程までに変わってしまう好例だろう。

さて、鄧小平が1978年に打ち出した改革開放路線は「共産資本主義」と言う特異でイビツな国の体制を作り上げてしまった。結果、貧富の差が広がった、、と言うより貧富の差もイビツで表現のしようがない状況だ。拝金主義が広がり、金儲無罪（金を儲けるためなら何をやってもよい（吉村の“造語”です）的な風潮が蔓延。古き良き中国を破壊しつつつつある。今や、人への拝金汚染と、環境汚染は後戻り出来ない状況だ。

環境汚染と並んで言われて久しいのが食の安全だ。昨今の雑誌やウンチク本には中国の食材についてさまざまな特集が組まれている。確かに安すぎる食品がはびこっており、巧妙に法の目をかいくぐって原産地の表示をしないで売っているのも事実。加工されロンダリングされた食品は見極めようがない。その中で、唯一安全な中国産の食材が有る。それは、環境が変わったりすると育たない、そして薬剤を全く受け付けられないもの、、それは「松茸」なのだ。人工栽培も確立できないほど環境に対し気難しいキノコで、当然ながら自然で松茸に適合した環境でしか育たない。周囲の環境汚染も受け付けられない。と言う根拠から一番安全と言える訳だ。

余談だが、中国産の松茸輸入が始まった頃、重量を誤魔化するためにクギなどの金属片が差し込まれた事が良くあったそうだ。今や金属探知機でそれらは一掃されているだろう。後、懸念されるとすれば「見かけの鮮度を保つ魔法の薬剤」がふりかけられているかどうかだ。これを使うと香りが台無しになり、色も多少変色するので使うことはためらうだろう。でも、松茸の香料も昔っから有るしね、、育つ環境が安全であっても、その後が信用出来ないんだなア～結局・・・

平成25年9月11日

おまけ 2020年 東京オリンピック

先月、東京オリンピック開催には地震という目の前に迫っている自然災害を踏まえて反対！を唱えていました。今もその考えは変わりませんが下馬評通りの結果でした。で、決まったものは仕方がないです。尽力された方々、選手の皆さんにも敬意と祝意をもって是とします。後は、それまで地震が来ない事を祈り、開催までの7年間、経済的プラスの効果で経済が上向く事を信じ、全力で福島原発被害の拡散を止めることを期待するのです。安倍首相の放射能対策において世界に向け「お約束します」と言ったものの、いつぞやの「トラスト・ミー」とならぬよう全力で抑える事を期待します。世界は東京でオリンピックの開催する事により、汚染拡散が本気で防がれるであろう事を期待したのかもしれない。しかし、世界に向けて発信する前に先ず日本・福島に言うべきではなかったか？そしてもっと早く実行すべきでは無かったか？単なるリップサービスで終わらぬことを願うのみです。

一方、オリンピックでうごめくお金に群がるヤカラもいる事も事実。裏オリンピックは出来るだけ無い様にして欲しい、、、って無理か（笑）

とにかく、開催まで何も無く良きオリンピックが開催されますよう。そして多くの開催国がオリンピック後の不況に見舞われているので、事前に予測される事への対策もお願いしたいものです。

平成25年9月11日

アメリカのジョークから

シアトルのダウンタウンの会社の朝。

「部長申し訳ありません！私としたことが遅刻してしまいました！」

「理由を言ってみなさい」

「はい。時刻になってもバスが来ないので、駅まで妻の車で行くことにしたんです。

妻は10分で準備が出来たのですが、途中渋滞がひどく車を降りました。

そこから馬で走ったのですが、今度は馬が転んで川に投げ出されてしまいました。

それでも頑張って泳いだのですが、途中ワニがいたので格闘となったのです。

ワニを退治するのに時間がかかったので、近くでヘリコプターに乗り、ようやく会社に着くことができたのです」

「お前、そんな嘘が通用すると思っているのか！」

「何が嘘だって仰るのですか？」

「見えすいた嘘をつくな！ 10分で支度が出来る女が何処にいる！」

平成25年9月17日

知っ得言葉 38 ●レッド・オーシャン と ブルー・オーシャン (赤い海と青い海：経済用語)

飽和状態や過当競争で競争の激しい市場を「レッド・オーシャン」と呼び、これから有望で競争にさらされていない未開拓の有望市場を「ブルー・オーシャン」と呼ばれる。血で血を争うような競争だから「レッド・オーシャン」なのかも、、、

身近なレッド・オーシャンの代表格では「牛丼戦争」だろう。何事にもスピードの速い現代社会ではブルー・オーシャンであっても寄ってたかって、あつと言う間にレッド・オーシャンと言う不毛な市場に変えてしまう事が多々ある。企業は変わり続ける努力を忘れたらブルー・オーシャンには縁遠くなるようだ。

平成25年9月25日

気まぐれ通信 其の115 ●色話し2

前回の「色話し」では赤色は「明かし」すなわち「明るい」が由来で、青色は「淡し」すなわち「ぼんやりとしたイメージ」が由来とお伝えしました。

赤色には、明るさ華やかさ、温かみ、積極性、愛などのイメージある反面、炎や血、危険、興奮などのマイナスの印象も有りますね。

片や、青色には開放的、海や空、涼しさ、冷静さ、清潔、快適などが感じられますが、「ブルーな気分」と言う憂鬱な状況を表すように失望や不安、悲しみ、冷たさもイメージされますね。青と赤は相反する色と言えますね。トイレなどの表示から男性、女性をもイメージします。

このように相反する色ですが、これらが混ざって出来る色が「紫色」。イメージとしては高貴さ、神秘、神秘、神聖さ、上品さ、不思議さ、魅力、癒しなどなのですが、これにも不吉、孤独、下品、欲、はしたなさ、卑しさ、妖しさなどの反面を持ち合わせます。そしてこの色の持つもう一つの面は「二面性」と言われます。青と赤が混ざった色は、元々複雑な相対する色なので、その時の心理状況を反映するようです。

それは前向きな精神状態の時、紫色は「高貴」「神秘」を感じるのに対し、マイナスの精神状態の時は「孤独」「卑しさ」などと感じ精神状態を反映した印象になるようです。

青と赤が織り成す紫をはじめ、様々な色が人間にもたらす効果は「視覚効果」の一つとして科学的に究明され、あらゆる分野に応用されていますね。

平成25年9月25日

おまけ 半沢直樹を観てみた、のだが、、、

「倍返しだっ！」で有名な半沢直樹と言うドラマ。お礼の倍返しは結構な事だが、「仕返しの倍返し」は元々キライなので観る気はしなかった。そもそもこのようなセリフが流行ること自体日本の文化が“さもしく”なり衰退している証と言えよう。とは言え私自身も「必殺シリーズ」は好きで未だに再放送を録画して観る事が有る。「勸善懲悪」(良きを勧め、悪を懲らす)で視聴者をスキッとさせるのはコノ手の定番で、老舗番組だった「水戸黄門」「銭形平次」等々良質と言える時代劇が中心だった。

さて半沢直樹だが最終回のみを録画で観たのだが、ストーリーはよく出来ていたものの最後のオチがナントも後味が悪い。「正義感をもってやっても銀行にとっては正義では無いんだよ」と言いたかったのだろうか？続編への思わせろだろうか？余りの後味の悪さに「観なければ良かった」と思うのが実感だ。現実には則した内容とは言え、理不尽を正とするオチはムナクソ悪く感じる。私の目線からは良質とは言えない番組が視聴率を取るの時代はサモシサだろう。続編があればドンデン返しもあるかも知れないが何れにせよその間のフラストレーションはぬぐえない、、、

平成 25 年 9 月 25 日

知っ得ことば 39 ● ロンダリング

身近には「コイン・ランドリー（洗濯屋）」から連想できるように“洗う”を意味する「ロンダリング」。不法手段で得たお金をさまざまな口座を点々とさせる事により出处不明にして汚いお金でもキレイなお金に見せかけるよう「洗淨」する。これがいわゆる「マネーロンダリング（資金洗淨）」です。元々はお金に関する言葉でしたが、先月に書いた「安全な中国食品」の中の「フードロンダリング」は食品の原産地を偽り、いかにもマトモな産地で採れたように「洗淨」する事を指します。マトモなものが求められる中、法やモラルをかいぐり、さまざまなロンダリングは益々巧妙かつ悪質になっています。

平成 25 年 10 月 8 日

おまけ 自分の弱点を知り、克服しよう。

季節の変わり目。体調を崩しがちです。人はそれぞれからだの丈夫なところ、弱いところがあります。自分でも季節になるとその人特定の体調不良がありますね。それを良く心得て注意を払い、弱い部分に負担が掛からないよう努力する事は心がけなければならない重要な事です。自分の弱いところを知ることにより、ちょっとした管理でシンドイ目には遭わなくてすむのです。要するに心がけ一つだと思います。

(10月1日の朝礼より)

平成 25 年 10 月 8 日

気まぐれ通信 其の116 ● 米の新たな挑戦

今年の新米も店頭に並び始め、水加減を気にしながらご飯を炊いている方も多い事でしょう。新米は独特の美味しさがありますね。

さて、TPP（環太平洋協定＝協定国間の原則関税撤廃）の論戦で日本の農業の「聖域」が脅かされる事態になりつつあるのは報道でも見聞きする通りです。

日本の米作りでは、先ず苗代（ナシロ＝稲の苗を前もって別に育てた苗床）を作り、時期が来たら田んぼに植え替える、いわゆる「田植え」を行います。この田植えで先々の米の育成、良し悪しが決まるとさえ言われる重要な農作業と言われます。日本の多くの神社で「田植え」の神事が行われ、伊勢神宮の遷宮においても田植えの儀式は重要な位置を占めると言えます。しかし、この田植えはかなりの重労働。機械化されたとは言え、日本には平らな田んぼだけではない、土地を有効利用した棚田と言われる階段状の田んぼにはこれらの機械は殆ど使えないのです。これほど手間をかけるのは苗代にメリットがあるからです。幼苗の保護と管理が楽で、必用な大きさに育つと耐性が上がってから植え替える事により育ちが良いからとされます。また、ジカ播(マ)きをすると鳥などに種もみが食べられてしまう事を防げるメリットも有った訳です。ちなみに、日本でジカに種もみを播いて育米するのは稲作全体の1%にも満たないとされます。逆を言えば99%もの稲作が高コストで行わねばならないと言えます。

さて、この田植えの移し変えの手間や重労働から解放する画期的な米が開発されています。種もみに鉄をコーティングしたそのものズバリの「鉄コーティング米」です。種もみを鉄粉と石膏を混ぜたもので覆い、その上を更に石膏で固めたものです。

この米にはコーティングのために重量が有り水田に播いても浮いてしまわない事。また、コーティングにより硬い殻に覆われて鳥などに食べられないなどの特徴があります。

これらにより、直接田んぼに種もみを播いてもデメリットを解消し、苗床からの植え替えの重労働や手間から解放されるのです。この省力化だけでも労働力の60%が削減できるのだそうです。また、種もみは1人でも播けるのでこれも少人力につながります。

総トータルで36%のコストが削減でき、高齢の方でも長く稲作に従事できるメリットが有るようです。コスト面ではそうですが、米の味と言う観点からは苗床をしのぐメリットがあるかどうかはこれからでしょう。

先ほど、棚田は機械化が出来ないと書きました。すなわち現状ではコストが掛かっているというわけです。昔は米の値段が一律で美味しかろうが無かろうが同じ値段でした。同じ農協に属してれば棚田であろうが平らな田んぼであろうが「おなじ米」だった訳です。しかし近年、棚田の米が見直されてきました。棚田は朝晩の気温差が大きい上に山腹にある事が多く、新鮮な山の湧き水で育つのです。ましてや手入れは人の手でないと出来ない。要するに自然に近い環境だが、手間のかかった「箱入りお米」と言う訳です。米は水とも言われこのような環境で育てられた米は平地の米とは一線を画します。今や全国棚田（千枚田）連絡協議会というも発足しており、棚田の美しい風景のみならず棚田で収穫された米の美味しさをPRし価格も農協の呪縛から解かれて自ら値段を決めているのです。このようにお米のみならず、日本の農業の将来は効率化とブランド化の推進、そして海外へ打って出る一連の前向き姿勢がTPPを乗り越えて農業を続ける手段の一つかも知れません。

平成25年10月22日

おまけ●台風と異常降雨

今年の台風の個数は異常ですね、しかも日本を狙いすましたようにお越しになる、、、台風だけではない。自然の猛威に被災された方々は本当に大変だと思いが、これとて明日はわが身の話になりかねないのだ。台風に関し、2008年9月に書いたのが以下の文面だ。

海面を移動する間、海からエネルギーの補給を受け続け衰えるどころか勢力を維持、さらには強化してゆきます。温暖化で海水温が上昇すると補給されるエネルギーが大きくミャンマーのような巨大サイクロン、アメリカ・カリブ海の巨大ハリケーンに発達するのです。今後もこのような巨大なものが発生して行く事でしょう。

～中略～

巨大台風、日本での大雨災害など今後も発生してゆくと予想される自然の猛威には、きちんと情報を捉えられるようにし、被害を最小限にするよう備える事が大切となります。

果たしてここ数年の異常な降雨と雨災害、そして今年の異常な数の巨大台風発生！このような傾向は益々拍車が掛かるのでしょうか。丁度台風が発生、活動する水域の海表温度は例年より1℃高いとか、、、1g (= 1cc)の水温を1℃上げるのに必要な熱量(エネルギー)が1カロリーですので膨大な量の海水が1℃の温度上昇するのが如何に恐ろしくて大きなエネルギーであるか！！地球の大気に溜まった熱エネルギーが海に吸収され続けている現状はこれからの想像を絶する気候変動を担保してしまっている。減災の心構えと、万が一の準備が一層重要になってくるのだ。

平成25年10月22日

気まぐれ通信 其の117●ミネアポリスと沢山のリング

テレビのニュースを見ていると、海外でのインタビューは圧倒的に英語が多いですね。大概の国の人は子供でも当たり前のように英語で受け答えしています。振り返って日本、、、中学から3年間学び、高校でも、はたまた大学へ進学した人も日本人は3年～8年英語を学び続けている訳です。デモ、簡単な会話すらおぼつかない。海外のインタビューでは母国語は別の言葉なのに10歳位の子供でも英語でマトモに対応できて

いますね。日本は中学校からなので普通は12歳からの学習です。スタートから既に違っている上にヤヤコシイ文法や重箱の隅を突くような学習内容でおおよそ会話からは程遠く、面白くないのは皆が体験させられた事でしょう。日本語を話すのに「文法」を知らなくても話せますよね。日本語の文法を学ぶようになって初めて「こんな法則があったんや〜」て思ったものです。言葉は経験で身に付くものであって学習はそれを助けるものでなければならないのです。学ぼうとすれば頭でっかちになり「先ず日本語に翻訳」して意味をとらえ様と一生懸命になる。そんな事を頭の中でやっていると会話なんて成り立ちっこないわけです。そして聞く力と何がポイントなのかを見極める（聞き分ける）と言う取捨選択もポイントになる訳ですが、これは普段、日本語を話しているときにもごくごく自然に脳みそがやってくれている事でもあるのです。

英語の教育を幼い頃からする必要はないのです。勉強として教えるのではなく「経験を通して身に付ける」スタンスで吸収してもらおうような工夫が必要だと思えます。当然の事ですが一番大事なのは先ず母国語である日本語。これをある程度身に付けないと国籍不明な物の喋り方の知らないトッチャン小僧、オバチャン小娘のような中途半端な日本人が出来上がるのです。

今の日本は総合的に「学習」とそのシステム、教育者人材の在り方について見直す時期にきています。と言うよりは、とっくにその時期は過ぎてしまっています。これを立て直すのは容易ではありません。1カ月ほど前、成人日本人が世界的に行われたテストで1位となったらしいが、これとて眉唾。この結果は全く信じてません。

さて、日本人の悪いクセの一つに「思い込み」があります。英語の聞き取り能力で”R”と”L”の発音の聞き分けと発音が苦手とされます。確かにむづかしいものです。これは慣れるしかないですね。43歳でニューヨークに渡り活躍した中村 喜春と言う芸者が居られた。全く英語は知らなかったが自分の耳で英語を捕らえ、自分なりに聞こえたまんま発音していたのだ。発音はアメリカ人のものとは程遠い強烈な訛りがあるのだが、完全に通じる。何故か？発音のポイントを外していなかったのだ。一生懸命聞こうとし、一生懸命伝えようとした活きた英語だった訳だ。逆にこの人の話す英語は日本人にはわかりにくいかもしれない。なりふりは二の次。伝わらなければ言葉ではないのだ。ちなみに喜春姐さんの「チケット」の発音は「テケト」だった。

で、冒頭の本ネアポリス（Minneapolis＝アメリカのミネソタ州の都市）ですが、沢山のリンゴは、メニーアップルス（many apples）と言いますね。イントネーション（抑揚）は違うのですが聞き間違い可能性のある二つの言葉。聞き取った単語の意味を間違えて思い込んでしまうと何を喋っているのかサッパリ判らなくなる。ポイントとなる部分の聞き取る力と理解力、判断力が大切な部分なのでしょう。

外国の大学がインターネットで講座を無料で解放し、優秀な生徒を集めようとしており、その成果が上がりつつあります。当然英語での講義、、、ますます日本は置いてきぼりになるよ〜

平成 25 年 10 月 29 日

おまけ●肺炎事情（知人から頂いた記事です）

ここ数年、肺炎患者が増加しています。どうしてかかるのか、また、どうしたらかからないですむのか、注意点をチェックしておきましょう。

●肺炎と風邪の違い

風邪は、鼻や喉、気管支が侵されて咳、熱などが出たりしますが、肺炎とは、風邪のウイルスをはじめ、細菌や誤飲などの原因で肺が炎症をおこす病気です。一般的には、体力が落ちて免疫力が下がるとかかりやすいといわれているため、高齢者の患者が多い病気ですが、若い人でもかかる可能性はあります。

肺炎の症状は風邪と見分けるのがむづかしいものです。以下の症状が出るようであれば、肺炎の疑いがありますので病院でX線検査と血液検査を受ける必要があります。

- ・3〜5日以上高熱（38度以上）が続く
- ・激しい咳と痰が続く
- ・すぐ息が切れる・息苦しい

- ・咳き込むと胸に痛みを感じる
- ・呼吸や脈拍が増加する

また、重篤になると、唇や爪が青黒くなるチアノーゼ（皮膚や粘膜が青紫色）の症状が出ることもあります。肺炎と一口で言っても1種類だけではありません。

●肺炎にかからないためには？

肺炎は、風邪やインフルエンザにかかった後に発症するケースが多いため、まずは風邪にかからないように、うがいや手洗い、マスクなどの予防をしっかりと行いましょう。

不規則な生活は、免疫力を低下させます。ストレスをためず、日々規則正しい生活を心がけましょう。

高齢者の場合は、肺炎球菌ワクチンの摂取も考えてみてください。現代人の免疫力が大幅に低下していることはあると思う。

原因の一つに食事を通じて間接的に抗生物質入りの食品を摂りすぎていること。（鶏卵、牛乳、乳製品ほか全ての肉類と養殖の魚介類に多く含まれている）

そして、過労や睡眠不足で免疫力を下げすぎていること。これでは、肺炎のみならず他の菌をも”どうぞ、どうぞ、お入りになって下さい！”と歓迎するようなものでとんでもないビョウキにかかってもおかしくはない。

悪い生活習慣を放っておいて苦しむのはご本人。どのような習慣にするのか決めるのもご本人。明暗はご本人の手の内にある。今！が全ての事始！さっそく、上の青色で表示した原因を取り除く必要がある。自分でできることはここまでだ。

高齢域に入るに従って、加齢とともに免疫力は大幅に低下する。ちょっとしたことで入院しただけでも体力が落ちていると肺炎に罹りやすい。癌で入院中の患者が肺炎で亡くなった！なんてことはヒンパンにある。だから肺炎が死因のトップから四位の順にあるのだろう。

普段から体力低下を実感している人ならば尚のこと食事管理（自然食品など）、十分な睡眠、過労を避ける、そして運動で体力をつける、などをして免疫力を高めることだ。

これをしないが為に苦しむのはご本人。苦しみたくないのならヤルしかない！

平成 25 年 10 月 29 日

知っ得ことば 40 ●便利害・不利益

文明の進歩は、様々な事が人の手を煩わせたりや注意を払わずとも出来るようになってきた。色んな便利が当たり前になると共に、忘れて行くのが不便への対応能力と感謝の心だ。様々なことが文明の利器で出来るようになり、人が苦勞して成し遂げた達成感の喜びや感動をも奪いかねないのだ。コンピュータの発達により漢字は「記号化」し、書かなくても「出てくる」。地図を見なくてもカーナビで目的地に行ける。ブレーキを踏まずとも危険を察知すれば車は勝手に停まってくれる等々、、、実際ワープロを使っていて漢字を思い出せなくなった事も有り、下手ながら来るだけ手書きの機会を作るようにしている。また、カーナビでは自分が更にアホになったように感じるくらい地理を覚えなくなったのだ。これではアカン、、、

これらのように便利になり過ぎて、人の能力が低下したり、感動や気付き、感謝の心が失われる事を「便利害」と言うそうだ。感謝の心が封印されると少しの不便にも不満や文句を言うようになってしまう。知らず知らずにそんな状態に陥っている人はおられないだろうか？

これらに対し、わざと不便な方法や状況の中で物事をやり遂げ、先に述べたような失ったものを取り戻す方法論として「不利益」があるのだ。この考え方はヒューマンエラー（ポカ）だけでは説明出来ないミスの発生の原因追及から生まれた概念と言われ、20世紀末に生まれた概念だ。

「適度な不便」とは長い目で見ると便利につながる道なのだ。これも「無の用（要）（＝一見無駄や不必要と思われる事だが、これによって得られる事が大きく有益な事）」と言えるだろうね。それと「当たり前」を「当たり前」と思わない心構えを持つ事だろうと思う。

おまけ ● 1 1 月 1 日の朝礼から + α

1) 同い年の友人に肺がんが見つかり、まさに今朝から手術です。会社も構内禁煙まで後 1 9 ヶ月。これは喫煙習慣のある人に煙草をやめて頂くきっかけになるかも知れないと思い 2 年の猶予を持たせて始めた社内キャンペーンです。タバコは本人だけでなく副流煙によって周囲の人々をも肺ガンにしてしまう可能性も医学検証で確認されました。タバコは自分のみならず他人をも病にしてしまう毒です。「絶対やめない」と考えておられる方も再考頂きたい。禁煙の辛さ・しんどさは自分自身もやり、良く分かった上での進言です。病のしんどさより遥かにマシだと思います。

2) 楽天 v s 巨人の日本シリーズは実にいい試合を見せてきてます。9 年前、近鉄とオリックスから生まれたチーム楽天はご存知の通り当初ほとんど戦力にならない選手の寄せ集めで初年度は 1 0 0 敗に迫る成績でした。初代監督を引き受けた田尾氏には頭が下がります。でも年々確実に実力を付け、地力・底力が付いてきました。片や巨人。一時強打者を集めたもののまとまりの無いロクなチームでは無かったですね。その反省に立って自前の選手を中心に育てて安定して強いチームとなりました。両チームともチームの目指す方向(優勝)に向かって一丸となって緊迫感、緊張感の有る良い試合をやってきてます。ウチの会社も皆が会社が目指す同じ方向を向いて来た様な芽生えが感じられます。一丸となり前に進んで行きたいと思いません。真面目に仕事に取り組んでいるウチのメンバーには感謝です。

✂ 楽天は見事日本シリーズを制しました。近年まれに見る良い試合の数々でした。楽天の全メンバーももちろん、高校野球の時からええ面構えの田中はスゴイの一言に尽きます。何か記録を残すだろうと思っていましたが、ここまで凄くなるとは、、、最後の田中の登板は星野一田中であれば必ず有ると踏んでいましたが正にその通り！そして最高の形で締め括った楽天の優勝は、東北地方の 3 . 1 1 の悲劇に対し正に正反対の並び、1 1 . 3 の希望をもたらしたと言えるでしょう。それにしても三木谷社長は人々を巻き込んで良運を引きこむ何かを持っていそうです。余り好きな人物ではなかったのですが、今は少しあやかりたや、、、(笑) 余談ですが長い苦難、苦労の道のりを経てのチームとファンの歓喜の優勝、これも広い意味での不利益かも知れないですね。

3) いつも月例朝礼でやっている「大笑い」と「人間時計」。笑いは心の解放と脳の覚醒、そして時計は普段やらない事をして脳を活性化する言わば勉強しなくても賢くなる！と言うシロモノです。私自身も複数の時計を数分進ませて「この時計は何分進ませているから、本当の時間は何時何分」とイチイチ頭の中で計算するのです。不便なようですが、このようにわざと面倒にして頭を使うようにし、これ以上鈍らないようにしています(笑)。これは昔っからやっていて、知らず知らずの内に「不利益」をやっているんだと思いました。

平成 25 年 11 月 5 日

気まぐれ通信 1 1 8 ● 日本ゆるゆる法案？～基準があいまいな変な法案達～ やぶにらみの私見

2 0 0 3 年に施行された法案の一つが「個人情報保護法」。この法案が実効しだした頃の保険、金融の現場に混乱をきたしたのは記憶に新しい。「混乱」は法の曖昧さから、守らねばならない立場の会社は安全策として法が求める以上の管理をしてしまう事もあったようだ。学校の名簿も、同窓会名簿も未だに位置づけが曖昧で「個人情報保護法」を盾に名簿の発行を拒否すると言った事もあるようだ。で、結局は灰色の解釈でうやむやになっている感が有ろう。一方、週刊誌やタブロイド版の新聞では、個人の情報を散々あばいてそれをウリにしていることが多々有る。そこまで踏み込んだら完全に個人の情報とチャウのん！？と言うような記事のオンパレードだ。こんなのが書かれても OK なん！？と言う具合で、適用基準が良く分からない法律だ。そして準備不足のまま、その法案のまま成立し、それらの基準のあいまいさが残ったままほとんど手を打たれていないのが現状だ。

そして今回、国家の機密情報を外部に漏らした公務員に対し罰則を強化する改正特定秘密保護法が成立目

前だ。この降って湧いような改定は恐らく外圧、、、そして日本が情報管理に甘いことから置いてきぼりにされないよう慌てたフシが有る。論議も不十分なまま個人情報保護法同様あいまいな基準のまま施行されそう

だ。
過去に日本の公務員の情報管理の信用が失墜し、そのため日本へ情報を入れてもらえず結果的に日本の頭を通り越して軍事的な事前協議がなされたと言う屈辱的な扱いを受けた事も有るわけだ。

情報の重大性に関する認識の緩さは安易にネットに情報を流す風潮を見れば分かるだろう。情報の持つ意味よりも「こんな情報を知ってるで〜」と見せびらかせて自慢の対象とする子供並みの動機も多いのだ。情報の管理に対し認識が甘ければいくら法律が有っても気付かねば無意味と言えよう。物事とそれに関する法案の関連を理解できなければならぬと言う前提を考えれば、まずは理解力と創造力・想像力を身に付けさせなかった日本の教育の根本から正さねば、と言う部分に行き着くのだ。これは日教組のもたらした弊害の一つだ。と言う訳で、いたちごっこ的に性急に作られる法案の抑止効果はどこまであるのか？は甚だ疑問に思えてならない。

日本の法律・条令の実効に関して竜頭蛇尾が多くなんらかの事件が起きた際の別件逮捕の手段に良く使われていると感じるのは私だけだろうか？

平成 25 年 11 月 12 日

気まぐれ通信 119 ●偽装日本。怒りとオドロキ、そして当たり前からマヒに！？

阪急グループに端を発してゾロゾロと出てきたのが言わずと知れたメニュー表示偽装です。これに関しては 2007 年 12 月に「偽装の根幹とは？」と言うタイトルで書いた事がありました。あれほど世間を騒がせていたのに 6 年経ってまたですか、、、

当時、私なりに偽装の分類をしたのが以下の通りです。

- ①法律や規則、モノの価値などを知らなかった（無知）
- ②今までやって来たことに法律の網が掛かったが、経験で今まで通りやっていた
- ③社会的信用を逆手にとった
- ④これくらいやったらええやん（管理のずさんさ、適当さ）
- ⑤コストの削減、もしくは利益のために誤魔化しをする
- ⑥得意先が求めた事に応えるためやむ終えず
- ⑦得意先に取り入れるために、安く提供出来る事を売り物にする

6 年前の分類は未だに通用しそうです。今回の場合は③④⑤あたりに分類されそうですね。特に③については憤懣やる方ない人も多いでしょう。記念日や接待で食事をした人たちにとって不愉快な思いと怒りがこみ上げてきて当然です。海外からお客さんも「おもてなし」に裏切られた形です。「表が無いから裏（ニセ）ばかり！？」と揶揄されそうです。

一方で食品加工技術の向上はまざましいものが有り、玄人でも見分けが付きにくい「高級食材モドキ」も増えて来ました。カプセル製造技術から出来た「人工イクラ」は世に出て 30 年以上経ちますが不動の地位を築いています。

加工食材はドンドン進化の道を歩んでいるのは周知の如くですが、別の問題が、、、特に熱を加えて調理したエビの詐称も目立ちました。中にはレッドキャビア（マスの卵）と称し、とびっこ（飛び魚の卵）を出すと言う「どこまでバカにするネンっ！」と言った事もありました。ちなみにこれらは色が似ているだけで大きさや食感は大違い！

これから予測される大きな問題の一つ、、、ニセモノを使っても誰も気づかなかった事です。片や回転寿司や多くのチェーン店では堂々と代替食品（ニセモノ）を使っているのも公知の事実。これらは一切問題として浮かんでこない。「安いから表示と違うニセモンでもエエネン。」と言う事なのでしょう。と言う訳でこれまでわざわざ高嶺の花の食材を食べなくても安モンで充分やないの？と言う「高級食材存在価値の危機」

が訪れる可能性が考えられます。

せっかく育て上げたブランド、、海外からの安い食材とは一線を画そうと正直に努力している人々にとってマイナスとならぬよう、一つの試練が来ているのか？値段の高騰を背景に益々価値が上がるのか？いずれにせよ行き過ぎた評価はプラスであれマイナスであれ収斂（シュリン=ある水準に落ち着く）します。それをプラスにするのは今回の偽装に関わった企業の責任であり、育て上げた食材に関わる人たちの努力が必要でしょう。

ちなみに以下は 2007年の春のタイトル「ワケ有り価格 ～安いものには訳がある安すぎるものにも訳がある～」の抜粋です。これは安い食材に関しての話でしたが、今回は安い食材の各上げで余計タチが悪いですね。

～～～抜粋～～～

回転寿司でも、本当にこのネタはこの魚なの？と大いに疑問が沸きます。「代用魚」があるのも有名な話です。

「ししゃも」の殆どが北海道産でなく、カナダ産のよく似た魚なのは広く知られている事ですね。

いつも感じているのですが各地の「特産品」「名産」と言われるものが不思議と日本全国に出回っています。これだけ出回ったら、そこの特産品は間に合わんやろうし、もうとつくに乱獲で採れへんやろ～と思っています。ましてやこんな安い価格で売れる筈もないよな～って思っています。かくして、さまざまな偽物を引っ張ってきている事は充分に考えられます。こう言った製品・食品流通の中で我々は生きなければならないのでしょうか？

こう言った無理な価格やシクミの継続はやがて立ち行かなくなると常々思っています。

平成 25 年 11 月 19 日

知っ得ことば 4 1 ●インフラ

英語の infrastructure(インフラストラクチャー)が語源。国・社会などが継続するために必要な社会的基盤や設備・整備の事です。身近なものでは河川、道路、交通網、通信網、上下水道、電気、ガスと言ったものが当てはまるでしょう。

平成 25 年 11 月 26 日

気まぐれ通信 1 2 0 ●強大台風の後には発生する地震や噴火！？

今年は強力な台風が多く、10月に「これからの想像を絶する気候変動を担保してしまっている。」と書いた直後のにフィリピンでの台風30号の破壊的な惨状、そして31号のベトナムでの猛威、、日本を始め各国で今までのインフラが通用しなくなるような自然の脅威を伝えるニュースが増えました。

さて、フィリピンの場合、強力な低圧で引き上げられた海面が高潮を引き起こし風であおられた高潮が、さながら津波のようにフィリピンの島々を襲ったわけです。その悲惨な映像とその後の人々の惨状は見るに耐えないものがあります。

このように台風など強大な低気圧は膨大な海水をも引き上げる力が有り、月による周期的な潮の満ち引きのバランスを崩しかねません。バランスが崩れると言う事は地面、そして特に海水が引き上げられる事による海底へ負荷のバランス変化が岩盤など地球表面のバランスにも及びかねない事を意味します。そのためでしょうか？大型の台風や低気圧が通過すると地震や噴火の確率が上がるのです。昨今、地球全体の地殻活動が活動期に入っている事を考慮すれば注視すべきことと言えます。南海トラフも活動期の兆候を示しており、いつ地震が発生してもおかしくない状況で、このような気象の猛威がバランスを崩して巨大地震のトリガー（引き金）になりかねないのです。日本は今まで以上に地震・噴火包囲網に囲まれていると言えます。

平成 25 年 11 月 26 日

知っ得言葉 4 2 ●ガラケー

この前の忘年会で「ガラケー」のいわについて問われたので改めて簡単に説明しますね。先ず「ガラケー」

とは「ガラパゴス携帯電話」の略です。「ガラパゴス」とは、生物が独自に生物が進化し独特の生き物がいるガラパゴス諸島を引き合いに出したものです。それで日本で独自に進化した携帯電話の事をからかうような表現で言ったのが「ガラケー」と言う訳です。今や、スマホではない折りたたみ式（パカパカ携帯）を「ガラケー」と思い込んでいる人が多く、本来の意味合いからはズレて来ているようですね。

平成 25 年 12 月 3 日

おまけ 1 2 月 2 日の朝礼から

●食品偽装と工業製品

未だに尾を引いている食品偽装、、、食品は誤魔化してきたが、工業製品は図面で約束されたものを作らねばならない。決められたチェックやルールを飛ばすと、大規模な不良に繋がる恐れが有る。また、いつもと違った状態や手間のかかる状態に陥れば必ず報告して解決に向けた努力が必要なのだ。人間力の強化によって気付きの能力を上げる努力は不可欠なのだ。作業を流して処理する（表裏的にやったふりをする）とそれらの事がないがしろにされ、図面で約束されたものでは無くなる。それは納入先で発覚する事であり、最終ユーザーが使用されている時に不具合が発生し、下手すれば事故に繋がる恐れも有る。食品はごまかせても、工業製品は通過しなければならないチェックやルールを飛ばすと手抜かりが正直に反映される訳だ。

平成 25 年 12 月 3 日

アメリカのジョークから

とあるバーで男が憂鬱そうにビールを飲んでいて。

バーテンが聞く、、、「そうしたんです？しけた顔して」

「妻とけんかをしてね、、、あいつ30日間口をきかないっていうんだよ」

「そら、願ったりかなったり。喜ぶべきですよ」

バーテンがそういうと男は答えた、、、

「今日がその30日目なんだ」

平成 25 年 12 月 17 日

気まぐれ通信 その121 ●現代の恐竜

クリスマスのシーズンともなるとクリスマスケーキとチキンが店頭に並びます。さしずめこの期間は「ニワトリ受難の時期」と言えるでしょう。さて、トリの祖先はトカゲやヘビなどの爬虫類で、それらを更にさかのぼると恐竜にたどり着きます。ワニやカエルの肉は鶏肉に近いといわれるゆえんですね。

恐竜→鳥の進化については、先ず恐竜の皮膚が進化し羽が生えるようになる種が現れだしました。恐らく力を誇示する過程の進化でしょう。それが全身に生えるようになり防寒の働きと、やがては飛ぶ為の道具になった訳ですね。鳥はどう猛な肉食系から小鳥、そして飛べないトリなどさまざまに進化した「現代の恐竜」な訳ですがニワトリに関して言えば欧米では臆病者の代名詞にされ、ナントも「恐くない恐竜」になってしまったものです。映画のバックトゥザフューチャーでは主人公が「チキン野郎！」とののしられている場面もありました。

はてさて何故こんな汚名を着せられるはめになったのでしょうか？それは「周囲に気を配りキョロキョロしている」とか「常にまわりの目を気にする」事から「臆病者」を連想させるのですね。これらは恐竜時代から本能的に備わった行動パターンなのですが、肉食系のタカやワシも同じような行動をするものの「タカのように鋭い目」などと正反対の表現を当てはめられます。ニワトリは何だかかわいそう、、、

ところで鶏肉の事を「かしわ」って呼びますね。これは主に関西で使われる言葉ですがその由来は諸説あるようです。

ニワトリの肉を切り分けするときに開いた状態が柏の葉っぱに似ている説。また、ニワトリは本来茶褐色でそれ自身が柏の葉っぱに似ていたからという説など外観から来た説があります。また、神社の鳥居前で拍手を打つ事から「鳥=カシワ」なども説の一つにあるようですね。

まあ、グダグダ考えずにクリスマスのカシワ、、、やない、チキンを楽しみましょうか。

ちなみに、今年遷宮した伊勢神宮の行事の中で「カケコーッ！」と言う掛け声がありましたが、これはニワトリの鳴き声です。と言う訳で神事に関してニワトリは神聖なものでもあるわけです。ニワトリの名誉の為にも、これは書いとかなきゃあ（笑）

今年もお付き合い有難うございます。来年はウマ年ですが鶏声一発、良い年が明けますよう。

平成 25 年 12 月 24 日

おまけ 年末の言葉と年始の朝礼から

●球際(たまぎわ)に強くなれ

平成 13 年に無くなった巨人軍元監督の川上哲治氏の言葉に「如何(いかに)打破」と言う事場がある。人間色んな困難な局面があるのだが、それを如何に乗り越えられるか？がそれまで積上げてきた努力によってつちかわれた技能・技術・経験で支えられた人間力である。

また川上氏は「球際に強くなれ」とも言っておられた。「球際」とは捕球するのが難しい守備範囲ギリギリに飛んできた打球と捕球しようとする人との捕球の限界点を指すと言う。その限界点において如何に捕球出来るようになるか？が「球際に強くなれ」と言うことなのだ。

製造業において品質の安定と向上には不断的努力が必要だ。モノ作りにおいて「不良ゼロ」は達成は不可能に近いが「不良ゼロ」を目指す努力やシクミ作りもまた「如何に打破」「球際に強くなる」とつながる事と言えます。

平成 25 年 12 月 28 日年次終礼から

●成長がもたらすもの

安倍ノミクスは成長戦略を柱としている。私たちも「成長」により前進できるわけだ。では、人の成長とは「以前より色々な能力が増す事(=できる事が増える事)」でありその為には「知識」「経験」を積む地道な努力が必用なわけだ。それには前向きの姿勢は欠かせない。私たちの努力は自分で評価は出来るものではなく周囲が評価してくれるものであろう。会社や人の社会的価値は世の中が判断する厳しいものなのだ。しかし周囲への「迎合」であってはならないのも事実。また自分に都合の良い自己判断に基づく自己満足があるとすれば、それは日本人特有の甘えでもあろう。その甘えは「自分はこれだけやっているのに、、、」と言う不満となって現れる事が有る。「一生懸命やっています」は「次につながる良い失敗」や「新たな方向性」が伴わねば意味が無いと言えます。いつも言うように「変わらずそこに存在し続けるためには、変わり続けねばならない(成長し続けねばならない)」のです。それにより人間力の向上と共に会社も成長できるわけだ。また「反省」無くして成長も有りえません。「反省」とは「省みて質(た)し、正す事」により、より良くする事。決して恥じることではないのです。むしろ反省をしないほうが恥ずかしい事と言えますね。

会社の事が中心になりましたが、これらの事はむしろ日常生活で活かされるべき事なのです。

●有給休暇について

自分の弱点を知り自己管理をする事。労働者には国が定めた有給休暇と言う権利がある訳だが、せっかくの有給休暇は計画的に使いたいもの。体調管理が不十分で突発的に使用するのもったいない事ですね。もちろん「体調不良でも給与を保証する」という労働者保護の役目もある訳ですが「体調不良でシンドイから休む」のと「計画的に健康な状態で休む」のとは有給休暇の価値が違います。頻繁に体調不良が起こるとしたら自分の弱点をカバーする自己管理が出来ていない証と言えます。仕事をしてその対価をユーザーから頂いている以上、私達はプロフェッショナルなのです。それを忘れてはならないのです。プロ(=それで飯を

食っている)以上、体調管理も義務のひとつと言えますね。有給は遊びであれ用事であれ計画的に、そして有意義に使いたいものです。

余談になりますが、有給休暇は労働者の権利の一つと書きましたが「権利と義務」はセットである事を忘れてはなりません。数年前、会社で果たすべき義務(=仕事)を十分に果たさずして権利を履行した人がおりました。この人には1年以上に渡り、出来る限りの指導をしましたが残念な事に今は会社に居られません。

平成26年1月6日年始の朝礼+α

きまぐれ通信 其の122

●後出しジャンケン、前出しジャンケンがまかり通り、そしてマトモな勝負が非難される、、

1970年代の本多勝一郎の南京大虐殺、1980年代の中曽根内閣の土下座外交、村山談話、河野談話と連綿と続いた日本のうつむき外交、、隣国とは仲良く、そして戦争責任もあるから、と穏便に穏便にとスンマヘン外交を続けてきたのは散々報道されている通りです。

日本が責められているのは数点、戦争に於ける残虐行為、慰安婦等々だ。南京大虐殺においては人口100万人の南京市において30万人を殺した!?!いない人間まで殺した事になっている。これはジャーナリストの本多氏が根拠不十分な事を書いて、それに中国が日本脅しのネタとして飛びついたわけだ。尖閣諸島だって明治時代の中国の公式地図には領土として認知していない。1970年頃に国連がこの付近の大陸棚には資源が豊富にあると発表した直後に「この島は中国の領土だ」と言い出したのだ。韓国においても従軍慰安婦問題はでっち上げの河野談話以降の話だ。もちろん慰安婦が無かったとは言わない。現在の朴大統領の親父さん朴正熙元大統領は米軍の従軍慰安婦の管理者だったのにこれには現大統領はダンマリを決め込んでいる。韓国で話を大きくしているのに親父さんの事は問題にしないの?中国では慰安婦問題はなかったの?日本を責める国々は自分の不都合な事実にはフタをする。その他にも多くの反証があるのにそれをキチンと発信しなかった訳だ。加えて根拠に乏しい「問題」を大きくする事で弱腰の相手をおとしめると言う初歩的手法にもはまって来たのだ。

巧妙なのは日本を責め続けると各国から「まあまあそんな事言わずに」と言われないう、着々と世界世論を味方に付けてきた。したたかだ。その間、日本はスンマヘン外交を続けた結果、各国の意識の中に「やっぱり日本さん、アキマヘンなあ」と植えつけられた訳だ。年末、靖国参拝をした安倍政権に対し各国は否定的なコメントを出したのは記憶に新しい。今の日本が必要以上の武装はしないし国家財政を見ても出来ないのは明らか。軍事政権から民主主義政治に変わって60数年経つのに未だに右傾化だと言いがかりを付けられる。様々な日本のマイナスイメージが手練手管を駆使して諸外国に浸透させるのに成功したわけだ。その間、日本は指をくわえてボーっと傍観していたわけで、結果、やっとマトモな行動をとって諸外国から非難されると言うバカな事に。友好国の台湾からも非難の意見が出るしまつ。おとなしくしていても挑発的な国々なのだから、この際どこかで反転攻勢に舵をきらないと益々不利な立場になっただろう。今、安倍氏の行動を非難している人々は、過去の外交マイナスを背負っての行動だった事を理解出来ているのだろうか?

さて、敗戦国となった日本は、戦争責任をまっとうするために補償や援助そしてその区切りとして協定や条約などを締結してきた。当事国達は国際ルールの上でも決着しているはずの事まで掘り返し「いや、あれでは不十分」と言いだしているのだ。第二次世界大戦では大量虐殺、がまかり通り、加えて日本は原爆まで落とされ多くの人々の運命が一瞬にして変えられたのだ。島の領土も同じ、からめ手で様々に仕掛けてくる。

自国の右傾化、軍備増強、近隣諸国への圧力を棚に上げ「これでもか!」と責める国。自国の経済状況の悪化から目をそらす為に国民の関心を外向けにする国々。いい国であろうと、いい子ぶってキチンと意見やジャブを打ってこなかった付けにより外交的に真っ向勝負を仕掛けても「そら日本さん、おかしいデ」となってしまった。

日本の国際的地位の回復は今後の政治家、国民に掛かっている。現在、日本を見限っている優秀な人々がドンドン海外に流出している。

知っ得言葉 43 ● 未必の故意(ミツコイ)

主に法律で使われるのだが「犯罪事実の発生を積極的には意図しないが、自分の行為からそのような事実が発生するかもしれないと思いながら、あえて実行する場合の心理状態。」言い換えれば「今やっている事で、悪い結果が他人に及ぶかもしれないけど、あえてやり続けたりする事」

平成26年1月21日

次のページにタバコが原因の病巣の写真があります。ご飯前の人、見たくない人は見ないで下さいね。

おまけ たばこをやめよう

1月19日の新聞に喫煙に関する共同通信の記事が載っていた。記事は以下の通り。

喫煙に関連する疾患で米国では年間約50万人が死亡、約1600万人が健康を損ね、毎年約3000億ドル(30兆円)近い経済損失が生じているとする報告書を、米厚生省が発表した。

肺ガンだけでなく、糖尿病や肝臓ガン、大腸ガン、関節リウマチの原因にもなると指摘。子供が新たにたばこを吸い始めるのを防がないと、今後多くの死者が出続けると警告した。(共同通信)

さて、ここ暫く著名人の食道がんが話題に上る。食道がんも喫煙が原因で発症する一つで一番タチの悪いがんだ。飲酒、喫煙、辛いもの、熱いものがその原因とされ、熱いお茶を飲む日本人や中国人は他国よりも発症率が高いそうだ。お茶などを飲んで熱さがしみたり、物を食べると胸がチクチク痛むなどの違和感が続いたら早目の検査に行くべきだろう。特に50歳を境に気をつけるべきだ。

さて、たばこについてももう少し掘り下げてみよう。

喫煙習慣とはれっきとした「ニコチン依存症」と言う病気として扱わねばならない。ニコチン依存症は非常に強い中毒であり、30分吸わないとイライラ、ソワソワしてくる人もいる。増してや一日中吸わないなんて考えられない人だって沢山いるのだ。自分自身もニコチン中毒だったので良く分かる。と言う訳で医師のコメントの一つには「やめられないのは意志の問題では無く、病気であるので治療をきちっとすれば良いのだ」と言うのが有る。自分では治療を受けていないが、多分に意志を占める部分も多いと思う。

さて、たばこの煙には有害物質が200種類以上含まれており、その中でも代表的なのが「ニコチン」「一酸化炭素」「タール」だ。これらは喫煙により肺から血液、そして全身にくまなく回る。

いわずと知れた「ニコチン」は、タバコ依存にさせ、一酸化炭素は臓器を窒息させ心筋梗塞や臓器の免疫力低下を起こす、そしてタールは肺に付着し肺がんの大きな要因となる。肺以外に煙に直接接触れる口の中では歯周病の原因となり、食道やノド、舌にはがんの発症の可能性を高める。

その他に、慢性気管支炎、十二指腸潰瘍、肌荒れ、発育不全など身体に悪い事は枚挙にいとまが無い。さらに最近タバコが原因とわかった病気に「バージャー病」と言うのがある。これは毛細血管が詰まり、指先から溶けるように腐る病だ。オソロシイ。

ちなみに15歳未満から喫煙を始めると60歳までにがんで死亡する確率は、吸わない人の30倍、16~25歳で始めた人は15倍、26歳以降は8倍と言う統計が出ている。若いときから吸い始めるとリスクが上がるわけだ。できるだけ、早くやめよう。

さらに、副流煙と言う本人以外にも悪影響を及ぼす厄介な存在がある。フィルターを通さずに出る煙には、吸う煙に比べニコチン2.8倍、タール3.4倍、一酸化炭素4.7倍という毒をまきちらしている訳だ。また吐いた煙身の悪い成分は一人の喫煙で30畳くらいの部屋で5分あつたら行き渡る。煙が見えなくても毒が漂っている。すなわち、そこに居る人は毒を吸わされているわけだ。車内ではもっと汚染度が高い。ナゾの肺

ガンも副流煙が原因と判ったのも書きました。それらを知った上で人の前で喫煙するのは他の人が病気になっての仕方がないと認識した「未必の故意」と言わざるを得ない。

2003年健康増進法が制定されその中に「多数の者が利用する施設の管理者に対し、受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるよう求めており～中略～努力義務を負う必要があるとしている。」

最後に、喫煙を続けているとかなりの確率で何らかの病気が発症する。「絶対にやめない」と言っている病にかかればやめざるを得ない。今、健康な状態なので「そんなつらいことはいやや」「今のままでええねん」と思っていると病気に掛かったとき「病魔との闘い」に加え「禁煙との苦闘」をしなければならない。「絶対にやめない」は「禁煙の苦しさ」を遠ざける言い訳にしか過ぎない逃げの言葉と聞こえてしまう。いずれ禁煙せざるを得ない状況の確率が高ければ、健康な内にやめれば健康体が続く可能性も高く二重苦も確率が減る。当然、家族や身内への様々な負担も減らす事が出来るのだ。

構内禁煙まで後16ヶ月余りだ。

平成26年1月21日

たばこが原因の病気



タールと一酸化炭素



煙の有害物質が直接触れて



煙の有害物質が直接触れて



有害物質、一酸化炭素などで血管が詰まる



有害物質による血管の詰まり。写真は足の小指が無くなった状態。

おまけ もう一つのインフルエンザ対策

インフルエンザウィルスが鼻や喉の粘膜に引っ付くと粘膜から体内に侵入するのに20分を要するのだそうです。うがい、手洗いは普段から言い続けている事ですが、ここでギモンが！「20分で体内に入るんやったら“ウガイ”ってしょっちゅうせえへんに効果あるん!？」そう思うやんねエ～。

ここで重要な体のシクミがあるのですヨ。薬のコマーシャルで「繊毛(セモ)運動」を活発にさせるクスリなんて言うものが有ったのですが、繊毛には粘膜などに付着したものをすばやく移動させる役割があります。不純物が体の奥に入らないよう送り出す役目のもの、逆に胃などに送り込んでウィルスや、ばい菌を胃酸で処理する手助けをするもの等々、あつてはならないモノを一箇所にとどめないのです。侵入する勝負の20分。それ阻止するには15分程度で侵入経路から移動させる事が重要なわけですね。と言う訳で「繊毛」が活発な事が重要なのです。繊毛は粘膜と一体なもの。水分が少ないと動きも鈍(=ブ)くなります。冬はあまり汗をかかないので水分補給を怠りがちです。これが盲点で、身体は実に1日2.5リットルの水を汗や排尿、排便で外に出ており、それを補う必用があるのです。体の水分が少ないと繊毛の動きもスムーズに出来ませ

ん。冬であっても十分に水分を取ることで繊毛運動をスムーズにさせ、インフルエンザ予防の助けとなる訳です。食事などで採る水分を除いたら、理想は1.5リットルと言われてます。

さて、最初に挙げた「うがいは意味が無い!？」と言うギモンについてです。うがいをする事により周辺のウィルスは洗い流され、感染リスクが減ります。そして潤いを与え繊毛の仕事の手助けをするので重要という訳ですね。

そして手洗いです。どこかで手に付いたウィルスがそのままアチコチについてしまうという実験をテレビで観られたことが有るでしょう。これがセキと共に家族感染のリスクを高めます。よく言われるのが30秒以上石けんで指の間、手首を丁寧に洗う事です。あと、人ごみや病院へ行くときは、マスクで防御するのも有効ですね。寝ている時に喉が渇きやすい人は、マスクをしたまま寝ると口や鼻から水分が逃げないので有効と言えるでしょうね。

気にしすぎず歯磨きの習慣のように身につければ、他のウィルスに対しても知らず知らずの内に防御するようになります。モチロンその前提には健康管理は欠かせませんね。

平成26年1月28日

知っ得言葉 44 ● 過失相殺 (カツツカイ)

例えば2台以上の車が関係する交通事故では当事者同士が正当性を主張し、互いに相手に責任があるような言動をし勝ちだ。ほとんどの場合、双方に何らかの「しなければならぬ事をしなかった落ち度、又はしてはダメな事をした落ち度(過失)」が有った結果の事故なのです。この双方の過失の割合を調べ、落ち度の割合を配分するのを過失相殺と言います。例えば、Aさんには過失割合7、Bさんは3割とすれば7から3を引いた4がAさんの責任を負うべき過失となる訳です。逆を言えばBさんは自身のAさんに対する過失責任が無くなる代わりに相手に請求する責任が7から4に下がるわけです。

ちなみに追突事故などの前方不注意は加害者の過失10割、即ち100%過失とされる事が多いのです。モチロン「過失相殺」は車に限らず様々な場面で適用されます。

おまけ

● 日常における目標と言う「メダル」

冬季オリンピックが始まります、時差でテレビでの観戦時間もマチャマチャです。睡眠時間を確保して観る様にして下さい。オリンピックはそれぞれの選手がそれぞれの目標(順位、達成感、納得感など)に向かって今までやってきた事の仕上げの大きな舞台です。

喜びの「銀」悔しい「銀」それぞれの目標によって同じ「銀」でも得る価値が違うのを目の当たりにします。日常でも期待以上の結果や、そうでなかった事の繰返しですね。でも、そこは人間、再チャレンジや新たな目標をかかげて達成したときの喜びを味わおうと悔しさをバネにして努力できる能力を与えられた動物でなのす。

● 自転車と自己責任

過日、自転車で人をはねて死亡させてしまった人が4、700万円もの賠償の判決が下った。「たかが自転車」と言う無かれ。この人の場合、スポーツ車で時速20Km程度。信号無視だったそうです。人間の耐えられる速度はせいぜい時速6Kmまで。早や歩き速度ですね。それを超えると支えられないし、耐え切れずにこけたりしてしまう。スポーツ車のみならずママチャリでも普通に走れる速度です。裁判において重要なのは、加害者の「過失(=やるべき事をしなかった落ち度)」と被害者の「過失」です。この判決は「信号無視」「前方不注意」などが加害者の過失100%で、被害者に過失は有りませんでした。

さて、日常でよく見かけるのが携帯で話をしながら、画面を見ながら、メールなどを書きながらです。これで加害者になると当然ながら「ながら携帯」と言う過失による「前方不注意」で賠償請求の対象となります。「ながら携帯」に関し、大阪府の条例では罰金5,000円のれっきとした条例違反でもあるのです。また、傘をさしての片手運転、ポケットに手を突っ込んでの運転もとっさのブレーキが片ブレーキで制動距離

が長くなり加害者になる恐れがあります。ブレーキの整備不良と同じですね。と言う訳で、普段気にせずや
ってしまっている事がいざと言うときに自分の身に降りかかります。事故を起こしてからではもう遅い、、、
気が付いたら正してゆこう。タバコをやめるより簡単な事だ。加害者となる前に。そして被害者とならぬよ
う。

平成26年2月1日の朝礼より

おまけカタカナ起源にみるユダヤの文化の影響（永年住んだアメリカから、岡山に一時移住されている小野
澤氏の原稿から）

カタカナは遣唐使の一員だった吉備真備によるもの！ 詳しく調べたら、その為に真備は、唐から、袁晋
卿（浄村宿禰）という音韻学に長けた少年を連れて帰朝している。更には、浄村宿禰の力をかりて、カタカ
ナは、呉音だった漢字の読み方を漢音に改める中で一つ一つの文字を当てはめていかれた！ことがわかった。

吉備真備が連れ帰った少年が、失われた十支族の中で東方に逃げ延びて中国で秦氏の中にセトルしたユダ
ヤ人末裔なのだろう！と僕は思うに至った。カタカナがほぼヘブライ語文字と同じだからだ。そして、秦氏
（はたうじ）がユダヤの支族を擁していることは、既に、イスラエル政府によっても確認された史実である
からだ。

袁晋卿が、秦氏系の間人だったとすると、唐の時代に、中国人なのに、ヘブライ語の知識を駆使して中国
語からカタカナを作り上げた！というカタカナの由来の説明が可能になる。

北海道民謡のソーラン節は、＜ハシゴ＞にのぼってニシンを見つけた時に、皆で”喜ぶ”という意味の＜
ヤーレン＞”ソーラン”と歌いだす。漁師達はその意味を知らずに口づさむ。

<http://www.youtube.com/watch?v=PvtI1akmzTE>

同様に、相撲におけるハッケヨイ、ノコッタも、元気でやれ、頑張れ！というヘブライ語で、古代ユダヤ
の神事であったスモウで使われた掛け声なのだ。因みに、僕のユダヤ人の友達に意味を質問したら、正しく
答えた。

相撲はユダヤの神事。古い水差しにマワシ姿で四つ手に組む相撲の彫り物が装飾されている。ハッケヨイ、
ノコッタ、日本人には意味不明の言葉には、ヘブライ語の意味が隠されていた。

<http://www.youtube.com/watch?v=U9NqwW6Bka8>

発音と意味の類似性

日本語		古代ヘブライ語
ミカド	（帝）	－ ミガドル （高貴なお方）
ヌシ	（主）	－ ヌシ （長）
サムライ	（サムライ）	－ シャムライ （守る者）
ヤリ	（槍）	－ ヤリ （射る）
ホロブ	（滅ぶ）	－ ホレブ （滅ぶ）
イム	（忌む）	－ イム （ひどい）
ダメ	（駄目）	－ タメ （ダメ・汚れている）
ニクム	（憎む）	－ ニクム （憎む）
カバウ	（庇う）	－ カバア （隠す）
コマル	（困る）	－ コマル （困る）
スム	（住む）	－ スム （住む）
ツモル	（積もる）	－ ツモル （積もる）
コオル	（凍る）	－ コール （寒さ、冷たさ）
スワル	（座る）	－ スワル （座る）
アルク	（歩く）	－ ハラク （歩く）

ハカル (測る)	—	ハカル (測る)
トル (取る)	—	トル (取る)
カク (書く)	—	カク (書く)
ナマル (訛る)	—	ナマル (訛る)
アキナウ (商う)	—	アキナフ (買う)
アリガトウ(有難う)	—	アリ・ガド (私は幸福です)
ヤケド (火傷)	—	ヤケド (火傷)
ニオイ (匂い)	—	ニホヒ (匂い)

言語学者ヨセフ・アイデルバーグが著書の中で、カタカナとヘブライ語の類似性を指摘した上で、日本語の中に混在する数多くのヘブライ語の単語を掘り起こしている。

平成 26 年 2 月 25 日

おまけ ● 変わらず存在し続けるためには変わり続けねばならない II

冬季オリンピックが終わりました。特筆すべきは上村愛子、葛西紀明と言ったベテラン選手たち。20年以上に渡り第一線で活躍するだけでなく、この間世界ランキング10位以内を維持し続けたわけです。年齢から来る肉体・精神の変化、ルールの変更、道具の進化等々彼ら自身の変化と周囲の変化は20数年で刻々と変わった事でしょう。トップランクの選手たちの肉体と精神はいわば精密機械の動物版のようなもの。何らかの事が少し狂えば、タチマチ今までできていたことが出来なくなる、、、そんな精密機械的な肉体と精神を保つためには我々のうかがい知ることの出来ない変化に対応する為の極限の努力がある訳です。モチロン親から授かった恵まれた肉体もあったでしょうし、親から受け継いだ教えや精神が根底にあったのは間違いありません。

また、若い浅田真央ですが、彼女の年齢と共に変化する肉体との戦いが有ったのは周知の通りです。第一線で活躍し続ける努力もまた報道されているのでよくご存知でしょう。最後の素晴らしいフリー演技の後にあふれ出た涙は美しかった、、、前日「金メダル」を意識して別人になっていた彼女だが、吹っ切れた心は20年近いスケート人生の全てをぶつけて納得の滑りが出来たと言う。見ていてもそれがヒシヒシと伝わってきた。最後の涙は、金メダルを取っていたら別の意味をもつ涙となっていたらろう。

ほとんどのアスリート達はライバルを意識し切磋琢磨して成長する。スポーツの祭典だけはライバルであり良き仲間であるのも良く見かける。スポーツ選手たちは素晴らしいものを私たちに見せてくれますね。いまは、パラリンピックが開催中。我々健常者でも出来ない事を、ハンディを持った選手達がやってのけるのだ。彼らもかわらず素晴らしい。

さて、私たちには彼らほどの極限の努力は無理ですが、社会においても会社においても、また会社や組織自体も存在し続ける（期待される、必要とされ続ける）為には変わり続ける努力が必要なのです。

平成 26 年 3 月 1 日の朝礼+α

きまぐれ通信 其の123

● 日本人とルール

かつて「余談」を書いていた頃の 2008 年 10 月に「観光競争力のランキング ～目指せ！観光立国ニッポン！？～」と言うタイトルの文章を書いた事があります。その中で日本への移民に関して以下の内容を書いていました。

～以下当時の抜粋文～

「さて、日本人一人当たりの年間消費は120万円とされ、外国人観光客が日本で使う平均額が1人当たり18万円といわれます。人口が減っても、国内消費を維持しようと思えば日本の人口が1人減ると単純に6.66人の観光客に来てもらう必要があるとされます。今まで国内消費のみで回ってきた内需経済が団塊世代の引退も相まって今までのようには行かなくなってきた状況となってきます。更に日本の人口は2006年

がピークの約1億2千万人であったのが今後40年もたつと1億人、100年後には6千万人と激減する予測が立てられているのです。もし、国内での消費金額を維持しようと思えば外国からの観光客の誘致により6千万人減る日本の人口に対し6千万 X 6.66人=約4億人の観光客にきてもらわねばならないハメとなる。とんでもない夢物語です。これらの数字は、現状を維持する為の机上の計算です。

一方で現在、日本の内需に対する外国人の消費額は5.5%とされ無視できない数字になっています。しかし、他の観光立国の%と比較すると遥かに見劣りするのです。

このような状況下、今月1日、日本政府は観光立国ニッポンを目指すべく「観光庁」を立ち上げました。2007年には800万人程度だった外国人観光客を2010年までに1000万人、2020年までに2000万人にしようと目論みを立てているのです。しかし、サブプライムローンに端を発した状況下、外国人の観光客の増加はここ暫くは見込めないでしょう。これらの目論見は人口減が確実とされる日本の対策案の1つ「外国からの移民容認論」と相まって今後、議論が大きくなる事でしょう。」

～以上、以前に書いた文章の抜粋～

そもそも人口構成が少子高齢化に向かうとわかっていたのは40年以上もの前から。人口統計は変えようが無いだけに将来を予測するには確固たる資料なのです。これに対し何も手を打ってこず、国家予算を食い物にしてきたヤカラ達が今日の疲弊した日本を生んだとも言えるでしょう。

さて、今年の3月頭、国家として日本を維持しようとするならば人口減の日本に対し「政策として移民を受け入れを検討する」がニュースになりました。移民先進国のアメリカではどうでしょう。多種多様な人種で構成されたかの国では、移民創世期からその秩序を守るべくさまざまな試行錯誤をしてきました。民族や人種により言葉・習慣・慣習等々多くの違いを抱えながら社会を維持するためにさまざまなルールが定められてきました。それらは法律や条令などで定められ「厳格に」運用されています。多民族国家で秩序を守ろうとすれば「厳格」は欠かせないわけです。もし、勝手にルールを崩したり、破ったり、変えたりするとタチマチ槍玉に上がるのです。それが彼らが自分達を守るためにつちかかってきた知恵の結晶であるわけです。

さて日本ではどうでしょうか？かつて習慣・慣習を共有し価値観もそれほどばらついていなかった単一民族に近い日本では「不文律」や「あたりまえの事」など、わざわざ決めなくても阿吽（アウン）の呼吸で事足りてきた部分も有ったと考えられる。わざわざルールを決めなくても「なあなあ」で何とかやり過ごす事が出来てきたし、人々が悩んだり迷ったときには最終判断をしてくれる「長（オサ）」が居てくれた訳です。

現代の日本は、価値観や生活も多様化し、考え方もマチマチです。また、古き良き習慣・慣習も核家族化などの生活様式の激変の中で埋没し忘れ去られた。ほぼ単一民族でありなが、人々の中身は多様化の一途を辿っているのです。ルールを習慣として持っていなかった日本人にとってルールはわずらわしいものであり、自分に都合よく解釈したり、変えたりしても文句の出にくい社会といえましょう。

しかし人の中身が変わり、外国人も増えてきた中、ルールの運用は厳格でなければならないのです。ルールは「共通語」であり「自分達を守る」道具である訳です。勝手に変えてしまうと、共通語で無くなるだけでなく、自らを窮地に陥れてしまいかねません。ルールを軽視してはならない。

さて、今後「移民受け入れ」を検討するにせよ、さまざまなシクミとルールを作って防衛しないと日本はむちゃくちゃで無秩序になってしまう恐れがあります。かつて移民を受け入れた国家でその政策が成功した事例はないのです。ルールの認識が甘い日本では他国の実例よりもっと危険で悲惨な結果を招きかねないのです。

ルールは事をスムーズに進めるための共通語だ。みんなで守ろう、そして変えるなら、みんなの納得と周知のもとに変えねばならないのだ。これが今後日本の社会・企業を支える根幹の一つと言っても過言ではないでしょう。

平成 26 年 3 月 25 日

おまけ 自己管理が出来ないと自分に降りかかる

仕事はできるものなら楽しくやりたいもの。楽しく仕事をするのは、気を抜いて気分的楽しく仕事をするのとは全く違う。楽しく仕事ができるためには技術や納期そして困難な事を乗り越えたものだけが得られる「達成感」「満足感」「征服感」などだろう。仕事は真面目にする事も大切だが只々淡々と作業をするのではなく創意工夫が常に伴うと達成感を感じるなかで自ずと色んな人間力が向上する。それが無ければ精神的に逃げてしまい「建設的でない楽しみ」に流れかねない。そうすると自己管理も出来ない。緊張感が無くなる、、、事故や不良につながる。結局は自分に降りかかるのだ。

以前にスポーツ選手で田中将弘、上村愛子、伊達君子等々「よい面構え」の持ち主だと書いた事がある。彼らに共通するのはやはり「向上心」とそれを支える自己管理だ。だから普段でも「良い面構え」な訳だ。日常でも良い緊張感を保つ事は自分を向上させ、そして自らを事前に護る事にもなるのだ。日頃の心構えに関しても仕事と日常を区別できないゆえんだ。

4月1日朝礼+α

きまぐれ通信 其の124 職の立場～薄れゆく公の仕事に関わる人達のプロ意識～

過日、入学式を迎えた担任の先生が自分の息子の入学式のために新たな教え子の入学式を欠席したニュースが有った。きちんと手続きを踏んで校長の了解を得た上での事だったと言う。自分の子供の「一生に一度の入学式に出てあげたい」がその動機だ。親としては確かにそうかもしれないが、公人としてはどうか？その教師が受け持つ子供たちもまた「一生に一度の入学式」なのだ。1人の満足を得るために、多くの不満を招いてしまったわけだ。

教師と言う将来の担う人間を育てる立場の者が「私」を優先してどうするのだ？また、それを許した校長も感覚がユルユルだ。教師は自分の子供に対し「私は教師だから同じ日にあるお前の入学式には出て上げられないのだよ。それは、多くの生徒に対し私が責任を持っているからなのだよ。」と諭すことが出来ないのだろうか？上司である校長もプロ意識も情け無い。この校長は今まで子供たちに何を教えてきたのか？と思ってしまう。

一般に職の内要が公に関わる割合が増せば増すほど「私」を後回しにしなければならない事が多い。またその人の立場の重要度が高ければ高いほど悲しいかな日常のプライベートは犠牲になってしまう訳だ。それはそのような仕事に携わった宿命の一つのはずだ。

今回の場合、アンケート結果は賛否拮抗しているが、先生を支持する声が少しだけ上回っていると言う。「そらプライベート優先して何が悪い？」と言う意見だろう。しかし、これは浅はか。深く考えればこの先生の取った「私事優先」は、今後このニュースの影響と共にこの先生が担う生徒達の将来にマイナスの影響を与えてしまったのは言うまでもない。「私事に勝る公は無い」と言う意識が根付けば今後の日本の国力を支えるべきプロ意識を削ぎ、日本の将来にさらに影を落としかねない。凶らずもこのアンケートで賛同した人々によって深く考える事が出来なくなってしまった日本人が増えた事を裏付けてしまった。

余談だが、仮にこの先生が自分の子供の入学式に出ず、教え子を優先していたらどうだろう。後々教え子達はその事を知ったら先生に感謝する人も多かろう。「感謝と不満」雲泥の差です。考え方一つで、その後にもたらす教え子への影響は大きいのだ。

一般的に自分中心で私を優先する場合、満足する人はごく限られるだけでなく周囲の目は冷たい。一方、多くの人にプラスとなる事を考えて行動した場合、自分も含めた人々に納得の良い結果をもたらす傾向があるのだ。要するに多くの人々がハッピーという訳だ。

平成26年4月22日

きまぐれ通信 其の125 片倉工業

2009年7月の「余談」で「往年の名車 ～片倉のシルク号～」と言うのを書いた事がある。以下がその

文面の抜粋です。

「片倉工業と言う会社をご存知だろうか？現在も上場会社で、旧片倉財閥系企業でした。片倉工業は元々は絹の製糸会社で、戦前は絹糸が日本の主力輸出品のひとつでした。その為、国策会社として国の庇護のもと財をなしたのです。その片倉工業が子会社として持っていたのが「片倉自転車」でした。戦後、東京の福生市の製糸工場があった敷地の一角を自転車工場としたのです。その頃、スポーツ自転車と言えば外国製。日本ではせいぜい実用的な自転車が生産される程度のもので本格的なスポーツ車の技術は貧弱なものでした。その中で製糸・織機しよつぎの技術から転用された独自のフレーム設計・製造技術が編み出されたのでした。そのフレームで作られたスポーツ車が「片倉シルク号」なのです。「シルク」とは、親会社が絹糸会社であったことは元より「絹のように軽く、しなやかで強靱なフレーム」であった事を自負しています。40～50年前の当時、このシルク号は競輪でも最高峰のフレームとされ、世界の舞台でも活躍したのです。1964年の東京オリンピックでは日本チームの自転車として採用されるまでに至ったのです。

福生市の工場に営業でよく回ったものですが当時の周辺は自然が多く、広大な敷地にある元の絹糸工場も往時の木造のままで時間が止まったような感覚に陥りそうでした。また、当事片倉工業の目の前にあった国鉄福生駅は無人でのどかなものでした。」

今回、世界遺産に推薦された群馬県の「富岡製糸工場」ですが、この福生の工場も負けず劣らず見事に保存されていました。製糸産業が海外からの輸入により壊滅的な状況になった中、業態転換を図り電子・電機など華々しいブランドは無いもの堅実な経営で存在し続けているわけです。驚異的なのは、それら古い工場を維持し続けられる財務内容と保存する会社の意志だと感じます。そのどちらが欠けても世界遺産の推薦には到達し得ない、普通の会社だったらとっくに壊して別の利用方法へと向いているだろう。これらには敬意あるのみです。

かつてウチの会社と縁が有った得意先の工場が世界遺産に推薦された事は何となく嬉しいものです。ちなみに今乗っている自転車は片倉自転車のスポーツ車なのです。

平成26年4月30日

おまけ 消費税と郵便料金のギモン

今月から消費税が上がりました。それに伴い郵便料金も、、、消費税が上がる前に話題になった一つが深夜営業の午前0時の値段。けっこうややこしく、小さなトラブルも有ったようですね。

さて、郵便料金ですがポストに投函する際の郵便料金の消費税はどうだったのでしょうか？午前0時にポストの前に郵便局の職員が立ってチェック。な～んて事は無く4月1日のポストの初集荷までを消費税5%としていたようです。

平成26年4月30日

おまけ 芯をしっかり持ってゆこう

4月の韓国の船の事故。ドンドン不手際な事が出てきていますね。馴れ合いの中、違法・異常な状態をわかっているながらもみ消し、ごまかしをしながら船の航行を続けていた訳だ。そして万一の事故に準備されたことが何一つなされなかった結果、悲惨な事故につながってしまった。前もってわかっている何も対策をしない、改善をしないでいると、いずれ自分達に返ってくるどころか、他の方々にも迷惑を掛ける事になってしまうのだ。その後、この事故とされを救難する側、政府、被害者や被害者の遺族を装った人々、責任のなすり付け合いなど、少なくともこの事故に関わる人々の中にモラルの低い人々が相当数居る事も露呈してしまっただ。

また、旅行会社の社員が学校の遠足のバス手配を忘れたことを前日に気付いた。あせった社員は「遠足を止めなければ自殺する」と生徒を装って旅行を中止させようとする手紙を偽装した訳だ。なんと幼稚な発想

と行動だろうか？先ずは上司に相談し、学校に状況を報告。謝罪。あらゆる手を尽くしてバスの段取りを試みる。それでもバスが手配出来なければ学校に更に生徒に対しても全面謝罪と言うプロセスが全くなされず、自己保全の為に破滅的な道への行動を取ってしまった訳だ。

事故、旅行社の件は、いずれも「自己保全」「保身」の為に詭弁、押し付け、ごまかしをする事で、人の醜さ、幼稚さを見せ付けてくれたのです。現代の日本において、法令順守やモラルの向上がなされていると同時に、それとは全く逆の方向に向かっている人々も確実に増えています。私達はこのような人々が増えてくる世の中で、自分自身を守るためにも、揺らぐことなく流される事を防ぐ為にも今以上に「芯をしっかりと持たねばならない」事が重要になってくると思うのです。

平成 26 年 5 月 1 日の朝礼より

知っ得言葉 その 44 マイナンバー制度

2015 年中に個人と法人にそれぞれ固有の番号（それぞれ個人番号（通称マイナンバー）、法人番号）が交付され、2016 年 1 月から順次、利用が始まります。

番号制度は、より公平な社会保障制度や税制の基盤（インフラ）として制度設計されています。個人や世帯の状況などに応じて、「真に手を差し伸べるべき者」に給付を充実させるなど、政府は番号制度によって、社会保障をこれまで以上にきめ細やかに、かつ的確に行うことを目指しています。そのために番号で従来以上に正確に所得を把握し、負担と受益の状況を政府と私たち自身が把握しやすくします。

また、番号制度は情報化社会の基盤ともされており、番号制度の導入によって、行政事務の情報管理・利用を一層効率化し、税金や年金、医療など暮らしに身近な手続きの簡素化などを行うことで、行政事務の効率化を通じた国民の利便性を向上することも目指しています。ただし、所得を把握するには番号を導入するだけでは不十分です。国民の財産をどこまで国が把握するかは、法定調書という納税者が所得を得る取引について税務当局が法律に基づいて集めている情報の範囲がどこまで拡大されるかによります。

平成 26 年 5 月 13 日

知っ得言葉 その 45 ●レジリエンス

「逆境に対する耐力と回復力」を指し、1970 年代から注目され始めた考え方だ。あきらめが早かったり、感情のコントロールが出来ないのはこの力が弱い人に多く見られる傾向と言う。リアクションがいちいち大げさだったり、感情表現が突出しているのもエネルギーの消耗が大きく継続力に問題が生じる。また、レジリエンスの力が低い人は「元々あきらめている」「自分を過小評価している」傾向があり、それを隠そうとする為にオーバーアクションになるのだろう。

それでは、レジリエンスの力が高い人はどうだろう。そういう人たちに共通するのが

- ・ 思考の柔軟性（視点を変えて発想の転換が出来る）
- ・ 楽観性（＝前向き）
- ・ 自己効力感（＝色んな事に自分が貢献できるという感覚）
- ・ 自尊感情（＝いい意味でのプライドの高さ）
- ・ 感情コントロールが出来る

である。これらはレジリエンスにとって非情に大切な訳だがそれを支えているのが良い人間関係だ。相談できる、話や愚痴を聞いてもらえる信頼関係も大切なわけだ。

しかし、諦めが早いのが全部悪いのではない。目の前の結果にとらわれすぎ無い事も大事なのだが「自分にとって大切な事ではない」と言う判断の上に諦める事は大事な事なのだ。

平成 26 年 5 月 20 日

きまぐれ通信 其の 1 2 6 ●覚せい剤は何故やめられないのか？

覚せい剤の怖さは以前から指摘されている通り一度やったら抜け出す事が出来ない地獄だ。タバコでさえ

中々やめる事が出来ないのにオソロシイ事だ。

最近、私の年齢層にも大きく潜行しており同じ 50 代として憂慮する事態だ。押収量が増えているのに、摘発される使用者が減っているのは正に日常の身近な人に深く潜行している可能性を示唆している。

さて、ロボコップという映画を憶えておられるだろうか？その中でヌークと言う合成麻薬の元締めがサイボーグにされてしまい麻薬中毒だった元締めがサイボーグにされたものだから麻薬を求めて大騒動と言うものだった。そのとき、サイボーグの中核はその人間の脳と脊髄。体は無いのに「脳が麻薬を欲しがる」訳だ。

脳には快感を感じる場所が有りそれを「脳内報酬系」と言うそう。食後の満腹感、排尿後の感覚、ほめられた時の満足感など様々な「快」を司るわけだ。神経の信号伝達にはさまざまな物質が作用し、体を動かしたり、暑さ寒さ、痛さも神経の信号伝達によります。「快」については「ドーパミン」と言う物質が関わっており、これが分泌される事により「快」を感じる訳だ。マラソン選手が走り終えた時に感じる「ランナーズ・ハイ」と言われる快を伴う高揚感もドーパミンの作用とされる

覚せい剤は、脳に働きかけてドーパミンを無理やり出させる作用があり、その量も日常生活では考えられない大量なものなのです。従って快感もハンパではない、、、

脳が一旦この大量ドーパミン快感を覚えると二度と後戻りできず、逮捕され、更正施設で指導と治療を受けても元に戻りやすいわけだ。それは脳に焼きついた快感を脳が欲しがると他にない。「焼きつく」と言う事は「消えない焼印」が脳に押されたと言う事なのだ。

たった一度の遊び心から手を出すと、善良な市民が地獄に堕ちてしまうのだ。

平成 26 年 5 月 20 日

おまけ 目を見よう・相手を見よう

人に与えられたコミュニケーションの手段が目での合図。昨今、交通事故が増えているのも自分が出て行っても相手が止まってくれるという勝手な判断によるところも多いだろう。交差点で鉢合わせ、対向での譲り合い。いずれも相手の目を見てお互いがコミュニケーションを取って譲り合うのだ。これが無いためにどれだけ多くの事故が起こっていることか？自分を守るためにもこのコミュニケーションの取り方は是非に必要な事だと思う。交通の面だけでなく、われわれは様々な社会的コミュニケーションの中で生活している。コミュニケーションを疎かにすると後々面倒な事が起こる可能性が高いのだ。

6 月 2 日の朝礼より

おまけ 異常な暑さに対しては普段以上の睡眠・休息をもって対処すべし！

熱中症の対策は、こまめに水を飲むこと。空調・扇風機を上手に利用することだが、なにを付けても大事なのが自己管理だ。熱中症の大敵は「睡眠不足」などの自己管理が出来ていないこと。これは顕著に表れる。実際、地元の夏まつりで熱中症が多発した年が有り、その反省で次の年は睡眠・休息を取らせるようにした。次の年は前年より暑かったにも関わらず熱中症がなかったのだ。この差は歴然。特に、異常な暑さに見舞われそうになるときは、異次元のレベルで自己管理をしなければならない。「異常には、異常を持って処せよ（いつもと違う状態には、いつも以上の対策をせよ）」と言うことだ。

それと体調異常の前兆現象を自分の五感でとらえる気付き力も大切だ。

6 月 2 日の朝礼より

きまぐれ通信 其の 1 2 7 ● 日常に浸透する中国の脅威

東南アジアの海域をわが領海とする中国。その領土と主張する海域はさながら舌の形状をしていることから「中国の赤い舌」とも言われている。ベトナムの船を集団で囲んでやりたい放題なのは周知の通り。

また世界各地に孔子学院と言う名目は中国語を教える学校を増やしている。「学校を作ってあげてるよ～」としつつ、中国の支配力を全世界に及ぼそうとする策略だ。アフリカにおける「援助」もそうだ。「色んな援

助してあげてるよ～」と言いつつやっていることはアフリカ諸国からの搾取と支配なのだ。げに恐ろしや、、、世界中に浸透しつつある中国の脅威だが我が国日本は尖閣諸島だけではない。水資源のある土地や軍事的価値のある土地の買収。ネットを通じての浸透、沖縄への米軍基地反対工作、、、手練手管を駆使してあらゆるものをわが物、我が支配下としてゆく、、、

かつて関西空港に降り立った中国人に入国管理局が「あなたの仕事は？」と尋ねたところ「生活保護」と答えて強制送還されたと言う笑うに笑えない話が有った。日本には先の大戦でできてしまった「日本人孤児」の問題が影を落とす。日本人の孤児の血縁が文面上で証明されれば入国・永住はたやすいのだ。さらに、公営住宅への入居もたやすいのだ。一人でも入居ができればシメタもの。いつの間にかその部屋は複数名～10名程度の中国人の棲家と化するのだ。で、彼らはやりたい放題、、、勝手に畑を作ったり、自治会の事は無視、注意をすると「ワタシ、ニホンゴ、ワカラナ～イ」とはぐらかす。手を付けられないそうだ。確信犯だけに非常に悪質だ。公営住宅の門戸は肝心の日本人に狭く、残留孤児関係には甘い。生活保護も同様だ。せつせと税金を払っている日本国民には厳しく、理不尽な事に今まで一銭も税金を納めた事がないような外国人に甘い。ただでさえ厳しい国や自治体の予算の中でこんな垂れ流しをさせられているのだ。どれだけお人よしの国、ニッポンなのだろう。

それだけでは無い、その垂れ流し予算を餌として中国人を浸透させているのだ。かつて、外国人参政権を唱えた党があったがトンデモない。悪意を持って浸透した特定の外国人が参政権を持ったらどうなるか？中国が得意とする人海戦術で多くの中国人が日本に押し寄せ、日本は政治的にたやすく乗っ取られてしまう。政治を数の力で捻じ曲げられた例は従軍慰安婦像や「日本海」という呼び名を韓国表記に変える議決をしたアメリカ議会をみればよくわかる。

缶コーヒーのCMの宇宙人ではないが、我々の周りは中国人に確実に囲い込まれつつあるのだ。

但し、中国人と言ってもさまざま。すべてがそういう人たちと言う訳ではない。良識のある人々とは明確に「区別」しなければならない。

追伸：H山氏を筆頭とするM主党議員達の中には、よほど中国にいい目をさせてもらった人がいるんでしょうね。その挙句、弱みを握られて中国寄りの発言をさせられるのでしょねエ、、、ナサケナイ売国奴達！

平成 26 年 6 月 10 日

知っ得ことば その46 ●集団的自衛権

集団的自衛権とは、防衛上お互いを助ける国々が連携し、連携している国が他国から攻撃を受けると、連携している国々と共に攻撃してきた国と戦う権利のことです。

対義語として「個別的自衛権」が有り、自国が他国から攻撃されたとき、自分の国を守る権利です。現在の日本では、戦争放棄を謳っている「憲法九条」が有るの中で必要最小限自国を守る「個別的自衛権」は行使できるが「集団的自衛権」は行使できないのです。戦争放棄を謳っている憲法九条の中で解釈を変えることで武力が使えたり使えなかったり、、、矛盾があるのは明らかです。

平成 26 年 6 月 16 日

きまぐれ通信 其の128 ●危機感をあおっているのか、事前の策か？

日本の国債発行残高は 800 兆円近く。国債を含む借金の総額は 1200 兆円を超えています。日本の場合、その借金の多くは日本国内で調達されているので「万一」が起こっても海外に迷惑を掛けるリスクが少ないとされる。

一方、海外の国債は自国以外の国々に買ってもらっている場合が多く、ある国に破綻の懸念が報じられると、買った国債が紙くずになりかねないので、たちまち金融不安に陥るわけだ。アメリカもご多聞に漏れず国債中心の借金大国。昨年、議会で国債発行増額を巡ってギリギリの攻防をしていたのも記憶に新しいことだろう。

日本の米国債の保有高は1兆1千億ドル、片や急成長した中国は1兆3千億ドルを保有しているとされる。

アメリカに金を貸してやっている中国だ。アメリカには強気な態度で対抗できるはずだ。でもそれは何故か中途半端、、、

アメリカは国債を無効化できる条項を持っているのをご存じだろうか？最初からアメリカ国債を購入する条件の一つにアメリカやその同盟国に国債保有国が攻撃を仕掛けた時点でその国の持っている国債を無効にできると言うものだ。

万一、、、が起こった場合中国の1兆3千億円の貸付金がチャラになる。そうなれば中国経済は一気に「破綻」と言う訳だ。片やアメリカは借金が大幅に減り、国債の価値が上がる。

このような状況の中、中国はジレンマに陥っていると言えよう。唯でさえ破綻に向かいつつある中国経済だ、その不満をそらす為の対外国強硬姿勢と、アメリカの出方を見ようとする中途半端さが垣間見える。

さて、ひるがえって日本。国会論議の中で「憲法解釈の変更」と「集団的自衛権の保有」の是非を巡って論戦が繰り広げられている。色んなケースを想定し、「だから集団的自衛権」を持たねばならないのだ、と言うロジックが「危機感をあおっている」と見なす意見も散見される。はてさて、色んな事を想定して備える事が「危機感のあおり」と言えるのだろうか？米国国債のように「万一」を考えた条項を加えると抑止効果が発揮されたのを見ても、何も無いときに起こりうる事を想定し、事前の準備をした事が功を奏しているのだ。国際情勢の不安定な状況下、事前に出来る準備はしなければならない。

戦場に赴けば、自衛隊員に死傷者がでる事は許せないと言う理屈がある。万一派兵が有っても死傷者が一人もないことを祈るのみだ。

余談だが、もったいぶっていた公明党のすり寄りには出来レースにしか見えない。「これだけ食い下がった」と言うアピールをしつつ、しっかりと与党として留まる。そもそも公明党の役目は「宗教法人課税の回避」だ。折角与党として政権内にいるのだから、この点に関しては「安泰」という訳だ。これだけ財政難を言われていても「宗教課税」への言及は始まらない。だから、公明党の政権離脱はあり得ないのだ。

平成 26 年 6 月 16 日

知っ得ことば その47●認知的不協和

人が自身の中で矛盾する認識を同時に抱えた状態、またそのときに覚える不快感を表す用語。人はこの不快感を解消するために、自身の態度や行動を変更すると考えられている。自分の不快感を解消するためには目先の屁理屈で「自分をもだまそうとする」のだ。

例えば「喫煙は自分の体に悪い、他人に悪影響を及ぼすけど喫煙し続ける」など相反する事を知ると同時にそれに対する不快な気持ちを続ける心理状態だ。

その不快感を打ち消そうとするのが「喫煙者でも長寿が人もいる」「交通事故で死亡する確率の方が高い」「自分だけは肺ガンはかからない」などのすり替え屁理屈だ。肺がんで手術後に亡くなったウチの親父もそうだった、、、

と言う訳で「認知的不協和」と言う不快感を解消するのはその原因そのものを取り除くしか無いのだ。喫煙者の場合は断煙しかないのだ。

参考) wikipedia

平成 26 年 6 月 24 日

気まぐれ通信 その129●タバコは痴呆症を予防してくれる！？

喫煙を続けると痴呆症になりにくいと言う事を聞いたことが有る。自分の喫煙時代、禁煙の真似事をしては何度となく失敗し、友人などから「がしんたれ(=根性無し“平野周辺の中に加美弁”）」と揶揄(や=からかう事)されたものだ。禁煙の過程で、これだけ長い間喫ってなかったらそろそろ1本くらい喫っても大丈夫やろう、、、これが命取り(笑)禁煙以前より本数が増えてしまう事も何度か。と言う訳で、しばらくぶりに喫うタバコは頭がクラクラすると同時にドーパミンが放出され、不思議な心地よさをもたらしてくれるのです。しかし、その「クラクラ」がクセモノ。クラクラの原因はタバコによる「血管の収縮」と「酸欠」

の結果で当然の事ながら体に良くない。モチロン脳ミソにも。一説によると「タバコが痴呆を予防してくれる」と言う流言があるが、これは「認知的不協和」から出てきた不安解消のすり替え屁理屈だろう。血管が収縮して酸欠の状態が繰り返し発生すれば脳に及ぼすダメージはボディブローのように効いてくる。

この6月14日日本老年医学会で発表された論文が有る。それは「たばこを吸う人は痴呆症になるリスクが2倍に高まる」と言うものだ。九州大学の研究室の調査で、ある地区の平均年齢57歳の人々約700名余りを15年間継続的に調査を続けた。現在ではその方々は平均年齢72歳になっている。この間に痴呆症を発症したのは202名。その内訳を「喫煙継続中」「過去に喫煙経験あり」「喫煙履歴なし」のグループに分けて分析したところ。現在も喫煙の人々は、喫煙していない人と比べ痴呆症の発症率が2倍にも上ったそうだ。但し「過去に喫煙経験あり」「喫煙履歴なし」のグループでは差が表れなかったそうだ。すなわち、早い目に喫煙をやめれば痴呆症のリスクも減るわけだ。当然だがタバコの副流煙で他人の痴呆症リスクも高めているのだ。モチロン、他人へのガンやその他の病のリスクも、、、

余談だが最近、私の周囲でタバコを止めた方が2人おられる。1人は銀行の支店長。ハードでストレスがたまる仕事の中タバコの誘惑と闘っておられる。この方は私のアドヴァイスのもと、いつでもタバコを吸える状況にしてシャチホコばらずに取り組んでおられると言う。

そしもうひとりは長年愛煙家だった知り合いのお袋さん。糖尿病以外の病は無く80歳を超えて一念発起。かつては喫煙所を探してウロウロしたり、タバコやライターが無いとソワソワしていた自分がみっともなかったナアと言われている。そして、余分な荷物が減ったのも喜んでおられる。使える小遣いも増えたやろね！
禁煙に年齢は無いノダっ！

平成26年6月24日

おまけ ●予見しよう・備えよう。そして引く勇気を持とう！

これから夏のレジャーシーズン。でも、毎年伝えられる悲しいニュースが水難事故や遭難です。いくらそれまで楽しく過ごせても事故が発生すればたちまち暗転。でもそれらの事故の中には予見できる可能性のものも多いと思われます。その場所で掲げられている注意事項も去ることながら、予見して備えなければならぬ「深読みできる人間力」も備えねばなりません。危険だとは知らない・判らないというのは一番良くないパターンで、危険の予兆を判断できる知識を持つことで身を守れるのです。何が起こって事前に準備できていればパニックにならない、あわてなくてよい、と言う事です。

こんなヒヤリとする経験が有りました。嵐山の上流で友人らと泳いでいたらにわか雨が降ってきたのです。そこを通りかかった川下りの船頭さんが「急に水かさが増えるから気イ付けな」と言って通り過ぎたのです。果たしてその数分後、一気に水面が上昇！友人の一人がおぼれて流されたのです。とっさに潜って下から抱え上げ何とか岸边にたどり着いたのですが、その船頭さんの事前の警告が無かったら友人や私はここに居なかったかも知れない。また、もし船頭さんの警告を無視していたら、、、と思うとぞっとする。知らないとはオソロシイ、、、

楽しく過ごすためには、よい緊張感をもって考えうる事を想定し備えをする。一見面倒だが、心行くまで遊ぶためには事前の準備は欠かせない。いつも言う「美味しいものを食べようとするれば準備が必要。そして後片づけも必要」だという事だ。

そして、人のアドヴァイスにも素直に耳を貸そう。そして何か起こりそうな予感がすれば勇気を持って中断する勇気も必要だ。これらは、さまざまな経験から得たものです。危険回避の為には会社で働いている方々にも嫌なこともいい指摘し続けねばなりません。これが、皆さんの生活を預かっている会社の責任でもあるからです。

7月1日の朝礼+α

おまけ ●熱中症について

発症のメカニズムは「体温上昇→汗をかく→脱水症→発汗不能→体温上昇→熱中症」とされる。

症状は、軽度で「立ちくらみ」「足の筋肉のつり」

中度で「頭痛」「嘔吐」「気分の不快」「倦怠感」「吐き気」「からだがぐったり」

重症で「高体温」「頭痛」「意識障害」「ぼんやり」→重症の状態は死に直面した緊急事態だ！

応急措置は以下の通り。必要に応じ、救急車を要請！

- ・涼しい場所へ移動
- ・服を緩める（脱がす）
- ・扇風機や冷たいもので体を冷やす
- ・水分・塩分の補給

とにかく体を冷やすのが応急措置となる。

冷やすポイントは、大きな静脈の付近、即ち首の左右、脇の下、股の付け根付近となる。

軽度でも症状が改善しなければ救急車を要請する事。

また、老人の場合、気温が高いのがわからず、しんどさを訴えない場合が多いので体温を測って熱中症になっていないかを確認することも大切。

2014年7月22日

おまけ ●気付きのチカラ

気付きは普段の記憶力と集中力が大切だ。「気付く」とは覚えているもの、そしてあるべき状態と言う漠然としたイメージと目の前にあるものを比較することで違和感を感じる事だ。この違和感を元に、違和感の大元に迫り、違和感の原因は何か？と言う突き詰めで異常な部分を察知するのだ。

マーブルチョコレートや菓など表面を糖衣で覆ったものは穴が空いていたり、割れていたりするのを見たことがありません。これらは昔っから人の目で不良品を選別しているのです。その速さたるや一分間に6000個やてっ！こんなスピードで一個一個見る事は到底出来ません。イメージとして持っているものと今、検査している目の前を流れているものとを照らし合わせて異常を察知するわけです。それから絞り込んで不良の1個を特定するという脳の処理と言う訳です。

必ずチェックになればならない決められた箇所とは別に、色んな不良の可能性が有るわけですが、いちいちチェック項目を増やすと言うのはばからしい事。仕事に集中し、有るべきイメージをしっかりと持てばじっと見なくても違和感を覚えて人が元々持っているチェック機能が働きます。そういう意味でも人間力の一つと言えるでしょうね。気付きの力を身に付ける事は、日常生活において自分の身を守る事にもつながります。

平成26年8月1日 朝礼より

気まぐれ通信 其の130 ●変わらず存在し続けるためには変わり続けねばならない III

駿河屋、ユニチカ、白元。これらは長い歴史を持ち、私たちにも馴染みの名前だ。しかし、これらの企業は倒産、若しくは金融支援が必要な状態に陥った。

駿河屋は1461年の超老舗企業で江戸時代の紀州徳川藩の御用達だった。

ユニチカはかつての「日本紡績」(=日紡“ニチボウ”)であり、丸一金属発祥の地、平野郷には地場産業の綿花を主原料に木綿の大きな紡績工場もあった。

そして白元は、衣類の防虫剤のパラゾールが始まりでミセスロイド、アイスノン、消臭剤など身近な日用品の一つだった。

かつては盤石だったこれら名門企業に何が有ったのだろうか？

駿河屋はいわゆる「練羊羹」を主体にしていたが老舗にあぐらをかいていた事から商品の幅を広げる事ができなかった。加えて、途中までは今まで通りのやり方で何とかやっていけたが改革や革新を怠ったツケが重くのしかかり、気付いた時には手の施しようが無い状態で、株式上場維持のために粉飾決算までせざるを

得なくなっていった。こうなると泥沼だ。粉飾決算は更に体力を奪い、支援に名乗り出た企業もサジを投げる状態に陥り完全倒産に至った。

ユニチカはかつて日本の三白景気（1955年前後、繊維・セメント・、肥料、紡績、製粉、紙などの白いもの）が当時の景気を引っ張った。その代名詞が“三白”と言う訳だ）の一角を担い、大いにわが世を謳歌した。大きな工場を各地に持ち、資産の面でも申し分なかった。やがて繊維は安い輸入品が増え、これら大規模な工場は縮小もしくは閉鎖の途を辿った訳だ。豊富な資産を背景に、土地活用を主体とした不動産業に軸足を移したが本業の繊維は体質改善が遅れ、製品開発もこれといった物が無く多角化が遅れてしまった。繊維を軸として発展させハイテクや医療に活路を見出した“テイジン”“旭化成”“東洋紡”“片倉工業”などと比較すると後塵を拝しているのは明らかだ。かつての名門大企業は大企業であるが故の舵切りの重たさが足かせとなった訳だが、早めに正しい改革を進めていれば先ほどの企業とそんな色ない多角化が出来ていた事だろう。

そして白元。かつて数々のヒット商品を連発、この分野では大きなシェアを誇っていた。M&A(会社買収)などにより多角化も進めてきた。何より3代目の社長は慶應大学・ハーバード大学の経営学修士をも取得した超エリートだった。かつて都市銀行に勤めていた社長は金融のプロであり経営で学位を得た人物が何を見誤ったのだろう。多角化の中でライバル企業とも言える“エステー”（かつての“エステー化学”）の台頭だ。白元が利益率の低い量販店に販売の軸足を移したのに始まった上に、エステーがグイグイとシェアを伸ばしていった訳だ。量販店を頼ると言うことはエステーとの差別化（他社との製品の違い）を打ち出せず、量売ってくれる量販店を頼らざるを得なかったのが原因だ。採算度外視の販売は財務状態を圧迫。それに加え、この社長の放漫的経営で資金も流出、財務体質が悪化した。本来ならば、このエリート社長の豊富な金融・経営の知識で乗り切らねばならないのに、それらの知識を逆手に取り巧妙な粉飾決算に走ってしまった。シェアの縮小＝売上減に対し、正面切って立ち向い、対処できる精神的な強さに問題があったのかも知れない。エステーはかつて白元の後を追いかけるベンチャー的な会社だったが、大きな挫折に見舞われている。その挫折を乗り越えて”追いかける会社”が“追いかけられる会社”へと変身したのだ。その間、白元はもたつき、会社の変革が出来ないまま倒産に至ったのだ。多角化を図っても変えられなかった事例だろう。

いずれもその時代に応じた、若しくは先を見越した企業の改革・変革が十分に出来ないままに破綻に至った訳だ。企業も、そこで働いている人々も変わり続けねば、変わらずその場に居続ける事が出来ないのだ。そういう点からも経営者の舵とり責任は重いと共に、経営者が如何に働いている人々に同じ方向に向いてもらえるか？の人間力も問われるのだ。経営者は「会社を沈まぬ船」として変わらず存在させるためには慈愛と鬼の両方の心を持たねばならない悲しい定めを背負わされる。

平成26年8月19日

知っ得ことば その48 ●エボラウイルス（エボラ出血熱の病原体）

1970年代にアフリカのザイール、エボラ川沿いで発病した患者から発見されたウイルス。エイズウイルスが元々猿が持っていたとされるのに対し、エボラウイルスはコウモリが持っているウイルスがその起源との説が有る。このウイルスは空気感染はせず感染者の体液や血液、吐瀉物などに触れなければ感染しないが感染力は非常に強いと言う。アルコール消毒でウイルスは容易に除去できるが、防護服を着た医療関係者までもが感染するのが脅威だ。

このウイルスの潜伏期間は2～7日程度で、発病は突発的に起こる。突然の発熱、悪寒、頭痛、筋肉痛、食欲不振、嘔吐、下痢、腹痛などが症状で、進行すると粘膜、消化器の内粘膜、皮膚などから出血。そして全身の穴と言う穴から出血する。致死率は50～90%にのぼる人類にとって最も恐ろしいウイルスの一つだ。現在治療法は確立されておらず対象療法しかないがWHO（世界保健機構）が試験的に投薬した薬が効いた可能性も報告されているのは記憶に新しい。薬効を期待したいものです。

平成26年8月26日

気まぐれ通信 其の131 ●目前に迫る危機

平成 18 年 9 月 (2006 年) にスタートした「余談」は平成 21 年 8 月の 150 話を以て不定期に書く「気まぐれ通信」へと衣替えしました。それと併せてこの 8 月で丸々 8 年経ってしまったわけです。

この間、予測されうるさまざまな事を書いてきました。それらの中で、現在進行形で起こっている脅威をピックアップしました。現実になってきているのが悲しい、、、

1) 昨年あたりから顕著になってきた、巨大台風と異常な降雨と干ばつ。これは地球規模的に発生している訳ですが日本では悲惨な災害が起こっています。今年の 8 月の異常降雨と災害に対し気象庁では「平成 26 年 8 月豪雨」と地域の名前を入れずに命名しました。いかに全国規模だったかの裏返しです。

日本列島の構造上、異常な豪雨は山の崩壊を招く可能性を指摘。悲しいかなこれは現実として今後更に起こりうるのです。昔は「沼」「浦」「河」「流」など“さんずい編”の付く地名は水害が多いとされましたが、今や日本列島の災害が起こりやすい地質を切り開いて住宅街が出来ているのだから無理もないのかも知れません。これらの街に災害予防と被害を最小限にするシクミ作りが待ったなしの事項と言えましょう。

※過去の異常気象とそれに関する「余談」「気まぐれ通信」の記述

・2007 年 6 月 ●中国の改革開放路線に乗せられて

公害による地球規模^{きぼ}の環境汚染とその放置→世界的な異常気象、農作物被害から食料難へ

・2008 年 9 月 ●台風って・・・

温暖化で海水温が上昇すると補給されるエネルギーが大きく(中略)今後もこのような巨大なものが発生して行く事でしょう。

・2010 年 7 月 ●水は固くて柔らかい

余りに多い雨量だと(中略)耐え切れなくなって山がごっそりと崩れてしまうのです。崩れた山は土石流となって怒涛のように流れ下り、ふもとに集落があれば大災害に至るのです。この時、土砂も含んでいるのですが「固くて柔らかい」水は地形に沿ってしなやかに移動し破壊の限りを尽くします。この説に基づいた「深層崩壊」の危険箇所は日本でも多数見つかっており異常気象による大雨災害の可能性が懸念されるどころです。

2) 近年「鳥インフルエンザ」「豚インフルエンザ」そして散発的に発生していたのが「エボラウイルス」です。この 3 つのウイルスは接触感染とされるが、鳥インフルに関してはヒトに感染する変異と共に、感染した鳥が空を飛んで陸を行き来することも脅威であった。我々の目は「エボラ」より他のウィルスに向いていたとされる。現に製薬会社は「エボラ」の薬に関しては市場性が低いとの判断から抗ウィルス薬に本腰を入れてなかったのは周知の事。

1900 年の初頭に流行したスペイン風邪。当時の世界人口は約 18 億人～20 億人の約 3 割にあたる 6 億人が冒された。死者は 5000 万人にも上ったとされる。(ちなみに日本の当時の人口 5500 万人に対し 48 万人が死亡)。この数字から世界を席卷したスペイン風邪の致死率は 8% 程度だった事がわかる。

翻って「エボラウイルス」は 1970 年代発見され当初の致死率は 55%。過去に 10 回ほど地域的な流行が有り、そのたびに致死率が上がってきたようです。今回の流行はアフリカ大陸で広がり止まらず感染者、範囲とも過去に例を見ない。さらに今や致死率は 90% と脅威です。このように大規模に流行すると懸念されるのが「突然変異」です。新たな感染ルート、例えばコウモリ以上に遠くに移動できる鳥やその他行動範囲の広い動物、そして空気感染等々。今でも十分危機であるのに、新たな感染経路が備われば遠く離れた日本ですら目の前の危機となりえるのです。

※過去のウイルスとその脅威に関する「余談」「気まぐれ通信」の記述。

・2006 年 11 月 ●ウィルスの恐ろしさ

スペイン風邪は医療対抗手段がなかったために多くの死者が出た

- ・2008年3月●新しいウィルスの台頭
- ・2008年5月●自然界の動物に発症する謎の病気
- ・2009年9月●「喉元過ぎれば」とならぬよう

喉元過ぎても忘れてはならないウィルスの恐怖。人類はウィルスで滅ぶと予言する学者もいる

- ・2012年12月●ウィルス対策～ウ

～長年書き続けてると、結構同じトピックスが繰り返し出てくるもんやね～

※来月から9年目、8年目の締めくくりは暗い話題だったので少し明るい話題から始めようと思ってま～す

平成26年8月26日